

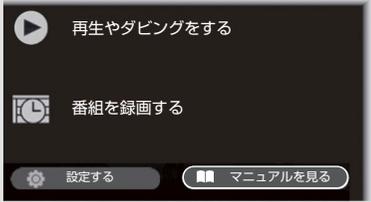
FUNAI

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

3030シリーズ

取扱説明書

よりくわしい説明については・・・



再生やダビングをする

番組を録画する

設定する マニュアルを見る

※本機のホーム画面（イメージ）

ホームを押して、▲・▼・◀・▶で
マニュアルを見るを選んで
決定を押すと、電子マニュアルが
画面に表示されます。

●青を押すと、電子マニュアルが閉じます。

はじめに

2

接続とかんたん一括設定

16

視聴する

28

録画する

32

再生する

42

消去する

45

各種設定

46

さまざまな情報

49

English guide

60

はじめに

安全のために必ずお守りください	3
ご使用上のお願い	7
ご使用前に	10
● 取扱説明書の種類について	10
● 本書について	11
● 本書で使用するマークの意味	11
● miniB-CASカードについて	12
● リモコンについて	12
● USBハードディスク/ SeeQVaultハードディスクについて	13
各部のなまえとはたらき	14
● 本機前面／側面／背面	14
● リモコン	15

接続とかんたん一括設定

アンテナや外部機器をつなぐ	16
ネットワークをつなぐ	24
● LANケーブルを使ってつなぐ	24
「かんたん一括設定」をする	25
● かんたん一括設定(基本設定)	25
● かんたん一括設定(詳細設定)	27

視聴する

ホーム画面について	28
デジタル放送について	29
デジタル放送でできること	30
● 画面表示を確認する	30
● メニューを使う	31

録画する

録画の前に	32
● 録画するメディアについて	32
放送中の番組を録画する	33
番組表(Gガイド)でできること	34
● 番組表について	34
番組表から一発予約で予約する	36
録画予約を確認・変更・消去する	37
● 設定済みの録画予約を確認する	37
● 設定済みの録画予約の内容を変更する	37
● 番組表から録画予約の内容を変更する	38
● 録画予約スキップ (毎週／毎日録画を一時停止する)	39
● 不要な録画予約を取り消す	39
● 録画を停止する	39
録画についての補足説明	40

再生する

録画した番組を再生する	42
● 録画一覧(録画した番組の一覧)について	42
● 録画一覧から番組を再生する	43
再生するときの操作	44
● 速度を変えて再生する	44
● スキップ・サーチ(見たい番組や場面までとばす)	44

消去する

番組を消去する	45
● 録画一覧から不要な番組を消去する	45

各種設定

かんたん一括設定で再設定する	46
● かんたん一括設定を表示する	46
ネットワークによる ソフトウェアの更新をおこなう	47
● 本機の情報を確認する	47
設定を初期化する	48

さまざまな情報

お手入れのしかた	49
仕様	50
保証とアフターサービス	51
症状診断シート	52
困ったときは	53
● おかしいな?と思ったときの調べかた	53
テレビ画面に表示されるメッセージ	55
著作権などについて	58
壁掛け金具取り付け時について	59

English guide

Name and function of each part	60
● Front view/side view/rear view	60
● Remote control	62

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

- 絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

▷ 絵表示の例



- 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



- △ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

▷ 絵表示の意味



必ず指示に従い、おこなってください。



絶対に濡れた手で触れないでください。



絶対に分解・修理はしないでください。



破裂に注意してください。



絶対に濡らさないでください。



絶対におこなわないでください。



高温に注意してください。



絶対に水場では使用しないでください。



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意してください。



絶対に触れないでください。

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示 使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

表示者 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井電機株式会社

■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ 本液晶テレビの廃棄

● 事業者が廃棄する場合

本液晶テレビを廃棄するときには産業廃棄物管理票(マニフェスト)の発行が義務付けられています。くわしくは各都道府県産業資源循環協会へお問い合わせください。産業廃棄物管理票は、(公社)全国産業資源循環連合会に用意されています。

● 個人が廃棄する場合

本機を廃棄されるときは[すべての初期化]をおこなうことをおすすめします。

くわしくは「設定を初期化する」をご覧ください。 [P.48](#)

■ ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- ビデオの近くに本機を置いた場合は、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

安全のために必ずお守りください(つづき)

警告

ご使用になるとき

<p>本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。 		禁止
<p>本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)</p> <ul style="list-style-type: none"> こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。 		水漏れ禁止
<p>本機を水でぬらさない 水滴のかかる場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。 風呂場では使用しないでください。 内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。 	 	水濡れ禁止 水場での使用禁止
<p>本機を改造または分解しない</p> <ul style="list-style-type: none"> キャビネットを分解したり、カバーや裏板をはずしたりしないでください。感電の原因となります。 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 		改造・分解禁止
<p>アンテナは送配電線から離れた場所に設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> 倒れた場合は、感電事故の原因となります。 		注意
<p>本機にダストスプレー(エアダスター)を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。 		禁止
<p>miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 		放置禁止

乾電池の取り扱い

<p>乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。 		禁止
<p>乾電池は乳幼児の手の届くところに放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 		注意

電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

<p>本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 接続する前に指定の電源電圧に適合しているか、もう一度確かめてください。 		交流100V
<p>電源プラグのほこりなどはとる</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。 ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。 		ほこりをとる
<p>雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> 落雷すると感電することがあります。 		接触禁止
<p>濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。 必ずかわいた手で持ってください。 		禁止
<p>電源コードを正しく使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> - 束ねない - 延長・タコ足配線しない - 固定しない <ul style="list-style-type: none"> 束ねての使用やステッplerなどで固定すると内部の電線が切れて発熱し、焼損・発火の原因となります。 タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。 		禁止
<p>電源コードを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> - 破損させない - 加熱しない - 引っばらない - 加工しない - 切断しない - ねじらない - 曲げない - 重いものをのせない <ul style="list-style-type: none"> そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 		禁止
<p>電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火の原因となります。 		禁止
<p>電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。 時々点検をしてください。 		禁止
<p>本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 		禁止
<p>電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電・火災の原因となります。 		禁止

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない ● 感電の原因となります。	 注意
電源コードを動かすと電源がオンになったり、オフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない ● コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。	 注意
本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。プラグを抜く	 使用禁止  プラグを抜く

■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。	 使用禁止  プラグを抜く
本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。	 使用禁止  プラグを抜く
画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。	 注意  プラグを抜く
電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く ● そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。	 注意  プラグを抜く

⚠ 注意

■ 設置・移動するとき

スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する ● 本機にスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因となったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。	 注意
海水や塩害に注意 ● 海辺にお住まいの方は、窓からの海水や塩害に注意してください。	 塩害注意
本機を車の中で使用しない 自動車内に放置しない ● 本機は車載用ではありません。 ● 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。 ● 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。 ● お車に付いているACコンセントや、市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。	 使用禁止
本機を次のような場所に置かない - 湿気やほこりの多い場所 - 油煙や湯気が当たる場所 - 熱器具の近く - 直射日光の当たる場所 - 押し入れや本棚など風通しの悪い場所 - 閉めきった自動車内など高温になる場所 ● 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。	 設置禁止
本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない ● バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。 ● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない ● 故障の原因となることがあります。	 禁止
本機の通風孔をふさがない - 風通しの悪い狭い場所に置かない - じゅうたんや布団の上に置かない - テーブルクロスなどをかけない - 本機の設置は、上面 30 cm 以上、背面 20 cm 以上、左右 10 cm 以上の間隔をおく ● 内部に熱がこもり火災の原因となります。	 禁止
本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする ● 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止
アンテナ工事は専門業者にお願いする ● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。	 注意
安定した場所に設置する ● 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。	 正しく設置する

安全のために必ずお守りください(つづき)

■ 電源コード・プラグの取り扱い

<p>お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 	 <p>プラグを抜く</p>
<p>次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく</p> <ul style="list-style-type: none"> - 長期間使わないとき - 旅行をするとき <ul style="list-style-type: none"> 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 	 <p>プラグを抜く</p>
<p>本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の原因となります。 	 <p>プラグを抜く</p>
<p>電源コードを引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。 必ず電源プラグを持って抜いてください。 	 <p>禁止</p>
<p>電源コードを引き回さない</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。 	 <p>禁止</p>
<p>電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙・発火の原因となります。 	 <p>禁止</p>
<p>電源コードを熱器具に近付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。 	 <p>高温注意</p>

■ ご使用になるときのご注意

<p>年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。 	 <p>掃除</p>
<p>液晶パネルの破損</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。 	 <p>禁止</p>

■ 乾電池の取り扱いについてのご注意

<p>乾電池は正しく挿入する</p> <ul style="list-style-type: none"> プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 <p>正しく入れる</p>
<p>指定されていない乾電池を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。 	 <p>使用禁止</p>
<p>新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。 	 <p>使用禁止</p>
<p>乾電池の取り扱いに注意</p> <ul style="list-style-type: none"> - ショートさせない - 分解・加熱をしない - 火の中に投入しない - 日光や火などの過度の熱にさらさない <ul style="list-style-type: none"> 破裂する危険があります。 	 <p>破裂注意</p>

ご使用上のお願い

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

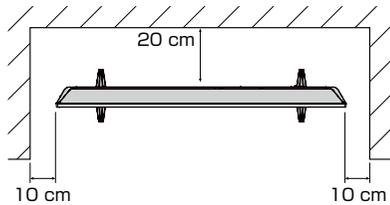
置き場所や取り扱い

- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**【クイック起動】**を**【切】**に設定して、本機の電源をオフにしてから抜くことをおすすめします。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与ることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(USBハードディスクなど)を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(VHF:90 MHz~222 MHz,UHF:470 MHz~770 MHz,BS:1032 MHz~1336 MHz,CS:1595 MHz~2071 MHz,BS4K:2224 MHz~2681 MHz,110度CS4K:2748 MHz~3224 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話、電子レンジ、WiFiルーターなどの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでの使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源をオフしておいてください。
※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源をオンにして作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱いってください。

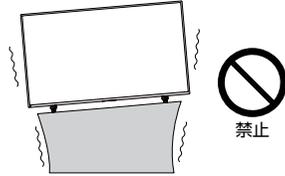
ご使用上のお願い(つづき)

本機の設置についてのお願い

- 最低限、下図のスペースを設けてください。



- 不安定な場所に置かないでください。台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



ご注意

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置を避けてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

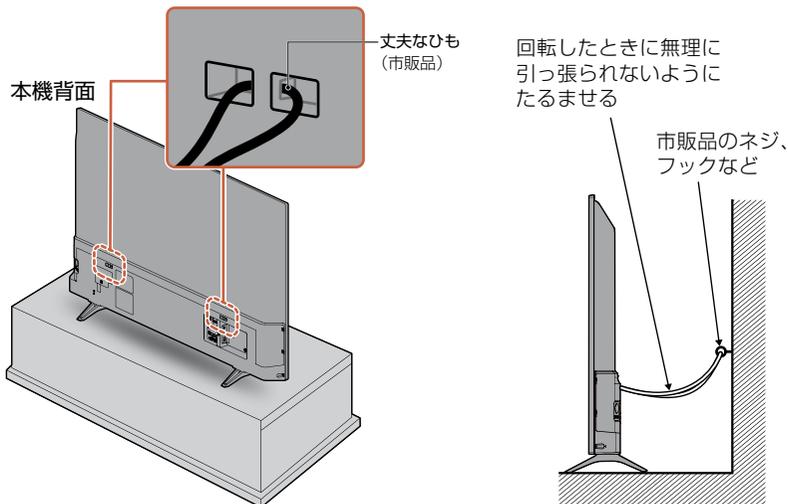
転倒防止についてのお願い

⚠ 注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因となることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

壁や柱などの安定した場所への固定

下図の通り、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。



ご注意

- 本機を再び移動させるときは、ネジやひもをはずしてから移動させてください。
- ネジ、ひもなどの取り付けは確実にこなしてください。

miniB-CASカードについて

- 付属のminiB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンター P.12へご連絡ください。なお、お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

本機に付属している^{ビーキャスト}miniB-CASカード以外のものを挿入しないでください

miniB-CASカード挿入口には、正規のminiB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損したりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送がおこなわれている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

リモコンについて

【アルカリ乾電池ご使用時の注意】

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5 V 2本)をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

お手入れについて

- キャビネットや液晶パネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭き取り、最後にかわいた布でから拭きしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

修理について

- 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。 P.51

ご使用の前に

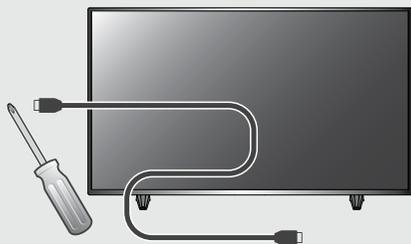
取扱説明書の種類について

本機の説明は、内容によって**取扱説明書**(本書)と**電子マニュアル**(本機に搭載)に分けて記載しています。必要な情報にあわせて、**取扱説明書**または**電子マニュアル**をご覧ください。

取扱説明書(本書)に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 本機の設置、接続について
- かんたん一括設定について
- 基本的な操作の説明

その他、本製品をお使いになる前にご覧いただきたい情報などを記載しています。



電子マニュアルに記載している主な内容

- 機能の説明
- 詳細な設定について
- くわしい操作の説明
- 困ったときは

その他、本機の機能を存分にお使いいただくために、取扱説明書(本書)には記載されていないよりくわしい情報を、本機の画面上でご確認いただけます。



※電子マニュアルによりくわしい説明が記載されている内容について、取扱説明書(本書)では **EM** を記載しています。

- さらにくわしい情報は、パソコンやスマートフォンから、当社製品情報サイトの「サポート」ページをご覧ください。

funai.jp/cs/



- 当社製品情報サイトの「サポート」ページでは、本機をお使いいただくための以下の情報などを掲載しています。
 - ソフトウェアの更新情報
 - 困ったときは
 - よくあるご質問
 - 接続確認済み機器
 - 最新の取扱説明書(本書)、電子マニュアルのオンライン版

サポート動画のご案内

当社製品情報サイトの「製品情報」ページで、接続方法や使いかたをわかりやすく説明したサポート動画をご覧ください。

サポート動画

funai.jp/tv/3030/#point-supportmovie



本書について

本書は、**3030**シリーズ(FL-50U3030/FL-43U3030)用に作成しています。

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞき「FL-43U3030」です。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、マーク、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
	取り扱い上のご注意を記載しています。
	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
	関連する内容を本機に搭載された「電子マニュアル」に記載しています。「電子マニュアル」を参照してください。
	関連する内容を同梱されている「はじめるガイド」に記載しています。「はじめるガイド」を参照してください。
	リモコンの や などを押して、項目の決定や選択をすること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

- 説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、「用語の説明」をご覧ください。
 「さまざまな情報」 ➔ 「用語の説明」
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

録画メディアを表すマーク

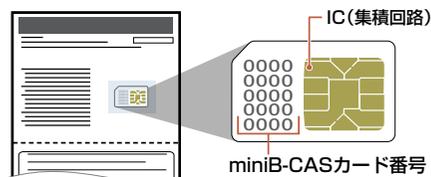
- 本書や本機の操作画面などでは、録画メディアを以下の通り表現しています。
 - 外付けHDD(ハードディスク) = USBハードディスク
 - SeeQVault対応外付けHDD(ハードディスク) = SeeQVaultハードディスク

	USBハードディスク
	SeeQVaultハードディスク

ご使用の前に(つづき)

miniB-CASカードについて

番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。



付属のminiB-CASカードのID番号は、カードを本機に挿入する前に、本書の「ご購入メモ」の「miniB-CASカード番号」に記入しておいてください。P.52▶

ご注意

- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたりしないでください。または分解や加工をしないでください。
- miniB-CASカードに重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部に手や指で触れないでください。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。miniB-CASカードの入れかたは**はじめるガイド**をご覧ください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。

お知らせ

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている内容をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報を書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先(2020年12月現在)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250(IP電話からの場合は045-680-2868) 受付時間 10:00~20:00(年中無休)
<https://www.b-cas.co.jp/>

リモコンについて

▶ 乾電池ご使用時の注意について

- くわしくは「リモコンについて」をご覧ください。P.9▶

▶ リモコンが効かなくなったら…

- リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。)

▶ リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。
距離・・・本機正面から7 m以内
角度・・・本機正面から上約15°以内、下約30°以内(5 m以内)
左右約30°以内(5 m以内)

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。



▶ リモコンの取り扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、濡れたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体で拭かないでください。

USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクについて

▷ USBハードディスクをつなぐ前に

- 本機は、USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクを本機に接続して使用することができます。録画についての補足説明に関しては、「録画についての補足説明」をご覧ください。**P.40**
- 本機に接続して番組の録画／再生が可能なUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクの最新情報や詳細は、当社製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ(funai.jp/cs/device/)でご確認ください。また、USBケーブルはUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクに付属のケーブルをご使用ください。
- バスパワー型のUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクは、本機のUSB 1 (録画用)端子からの電源供給(最大900 mA)だけでは正しく動作しないことがあります。バスパワー型のUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクをご使用の場合は、各USBハードディスクメーカー指定の給電用ACアダプターのご使用を推奨します。(ご使用のUSBハードディスクがACアダプターによる給電に対応していることをご確認ください。)
- USB 1 (録画用)端子には、デジタル放送録画用USB機器以外のものを接続しないでください。
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクを本機に接続してUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクとして登録すると、本機専用の方式で初期化されるため、それまでに保存していたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していたUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクの動作中は、USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクの電源をオフにしたり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機およびUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクが故障したりする原因となります。
- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクを接続するUSB 1 (録画用)端子はUSB2.0準拠でUSBハブ対応です。USB 2 (メディア再生用)端子はUSB2.0準拠でUSBハブ非対応です。
- 本機とUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクまたはUSBハブを接続するときは、本機とUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスク(セルフパワー型のみ)またはUSBハブの電源を必ずオフにしてください。**【クイック起動】**を設定している場合は、設定を解除してから電源をオフにしてください。
[EM] 「各種設定」 → 「その他の設定をする」 → 「クイック起動を設定する」
 電源をオフにしたあと、本機前面のLEDがすべて消灯していることを確認してください。
- 通常録画用として登録したUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の当社製テレビ(同じ型番のテレビも含む)やパソコンなどに接続しても再生できません。
- USBハードディスクをお使いになるには、本機に登録 **P.23** が必要です。登録の際、USBハードディスクに保存されたデータはすべて消去されます。
- USBハードディスクは非常に精密な機器です。丁寧にお取り扱いください。
- USBハードディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクを録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。万一録画内容が失われましても当社は補償いたしません。

大切な番組の録画には、BDレコーダーなど、他の機器にも録画することをおすすめします。

- USBハードディスクに異常が発生した場合は、USBハードディスクの録画内容は失われます。
- USBハードディスクは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合は、早期に寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合は、USBハードディスクの寿命が近づいています。
 - ・ 再生できない、再生と一時停止を繰り返す
 - ・ 映像が乱れる
 - ・ ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する

- 本機で録画した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では視聴できません。万一本機が故障し主要な部品を取り換えたり、本機を交換したりした場合でも、USBハードディスクに録画した番組は見られなくなりますのでご了承ください。

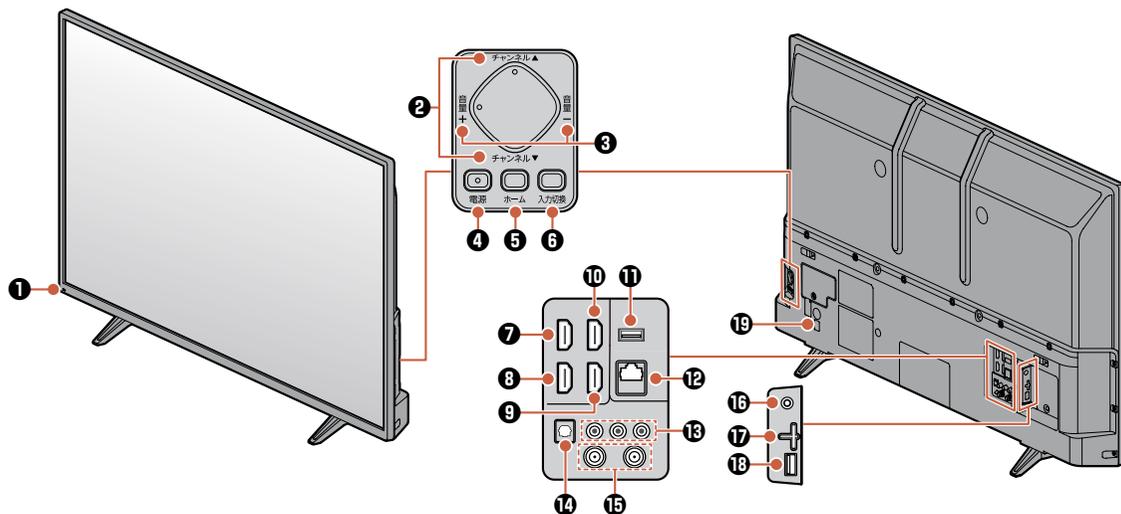
- 万一何らかの不具合により正常に録画されなかった場合や、録画内容を正常に再生できなくなった場合などの録画内容の補償はできません。

ご注意

- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクは8台まで本機に登録できます。
- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクをつなぐ場合は、USBハブを使うと4台まで同時に接続可能です。

各部のなまえとはたらき

本機前面／側面／背面



① 電源LED／リモコン受光部

青点滅……電源オンにし、テレビが起動中の状態です。
 青点灯……電源オンにし、テレビが通常動作している状態です。
 消灯………本機が電源オフの待機状態、または【電源LED】を【切】にした状態です。

② チャンネル▲／▼

チャンネルを切り換えます。
 メニュー画面表示中はリモコンの▲または▼と同じはたらきをします。

③ 音量＋／－

音量を調節します。
 メニュー画面表示中はリモコンの◀または▶と同じはたらきをします。

④ 電源

⑤ ホーム

ホーム画面を表示します。

⑥ 入力切換

押すごとに入力を切り換えます。

⑦ HDMI 1端子 (ARC対応)

⑧ HDMI 2端子

⑨ HDMI 3端子

⑩ HDMI 4端子

⑪ USB 1 (録画用)端子

USBハードディスクを接続します。

⑫ LAN端子

⑬ ビデオ入力端子

⑭ 光デジタル音声出力端子

⑮ 地上デジタル、BS・110度CSアンテナ入力端子

(左)BS・110度CS入力 (右)地上デジタル入力

⑯ ステレオヘッドホン挿し込み端子

⑰ miniB-CASカードスロット

付属のminiB-CASカードを入れます。

⑱ USB 2 (メディア再生用)端子

USBメモリーを接続します。

⑲ 盗難防止器具取付スロット

お知らせ

- 電源ボタンでオフにすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新がおこなわれる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。

ご注意

- 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグ本体を持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本機背面のUSB 2 (メディア再生用)端子には、JPEGファイルや動画、音楽などの再生用USB機器以外のものを接続しないでください。

リモコン



① 入力切換

- ・ 押すごとに入力を切り換えます。
- ・ 本機側面の入力切換ボタンで切り換えることもできます。

P.14

録画 **P.32**

電源

- ・ 電源のオンやオフができます。
- ・ 本機側面の電源ボタンでオン、オフにすることもできます。

② 数字ボタン

- ・ 数字ボタンを押すと、チャンネルを直接選べます。

③ チャンネル

- ・ チャンネルボタンを押すと、視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
- ・ ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

地上

- ・ 地上デジタル放送に切り換えます。

BS

- ・ BSデジタル放送に切り換えます。

CS

- ・ CSデジタル放送に切り換えます。

音量

- ・ +で音量を大きく、-で音量を小さくします。

④ 番組表 **P.34**

ホーム **P.28**

消音

- ・ 音を一時的に消し、もう一度押すと元の音量に戻ります。

⑤ メニュー **P.31**

画面表示

- ・ チャンネル番号、放送時間、番組名、音声の種類、録画情報、現在時刻などを画面に表示します。 **P.30**

決定 / ▲・▼・◀・▶

- ・ オプションなどで選択や決定がおこなえます。

戻る

- ・ オプションなどの表示中に1つ前の画面に戻ります。

dデータ

- ・ データ放送に切り換えます。

[EM] 「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「データ放送を見る」

⑥ カラーボタン (青 / 赤 / 緑 / 黄)

- ・ 番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用する
- ・ 画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

⑦ 早戻し再生 / 早送り / スキップダウン / 停止 / 一時停止 / スキップアップ

- ・ 録画した番組を見るときに使用します。 **P.44**

⑧ リンク

- ・ HDMI-CEC対応機器を本機のリモコンで操作する

[EM] 「外部機器を使う」 → 「HDMI-CEC対応機器を操作する」

字幕

- ・ 字幕の言語や、表示の有無を設定します。
- [EM]** 「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「字幕を出す」
- ・ 一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。

音声切換

[EM] 「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「音声を切り替える」

録画一覧 **P.42**

ご注意

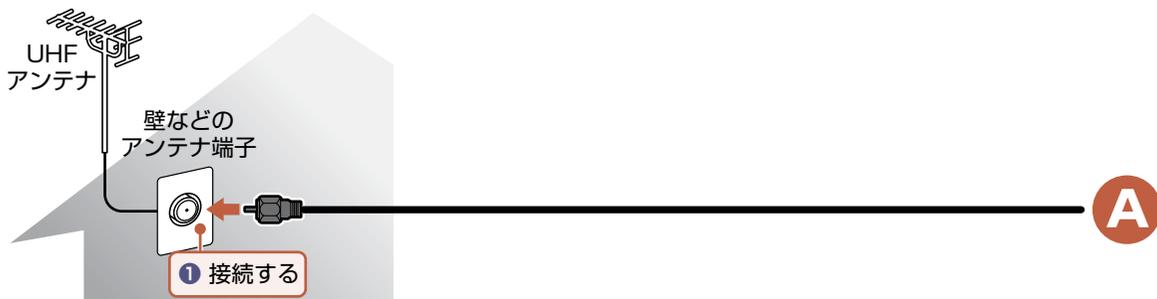
- ・ 本機は外部入力からの4K映像は楽しみいただけますが、2018年12月1日から開始された新4K8K衛星放送による4K・8K放送は受信できません。BS4K・110度CS4K放送を楽しむには、別売の対応チューナーが必要です。
- ・ リモコンが正しく操作できないときは、「おかしいな?と思ったときの調べかた」をご覧ください。 **P.53**
- ・ 乾電池の入れかたについて、くわしくははじめるガイドの「リモコンを準備する」をご覧ください。
- ・ 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製テレビの操作はできません。
- ・ リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- ・ 画面に操作メニューが表示されている場合は、その操作に対応したボタンが有効となります。連続して他の操作をおこなう場合は、その操作メニューの表示が消えてから操作してください。

アンテナや外部機器をつなぐ

- 本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

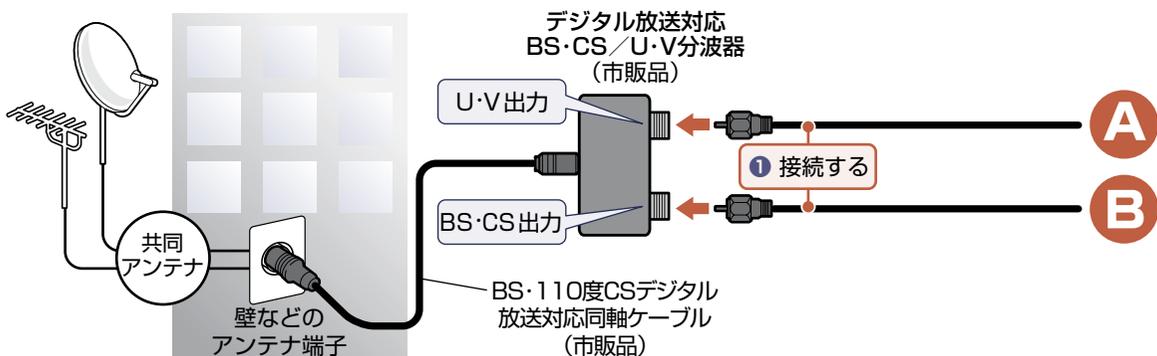


BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

▶ アンテナ端子が1つのときは

- マンションやアパートなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

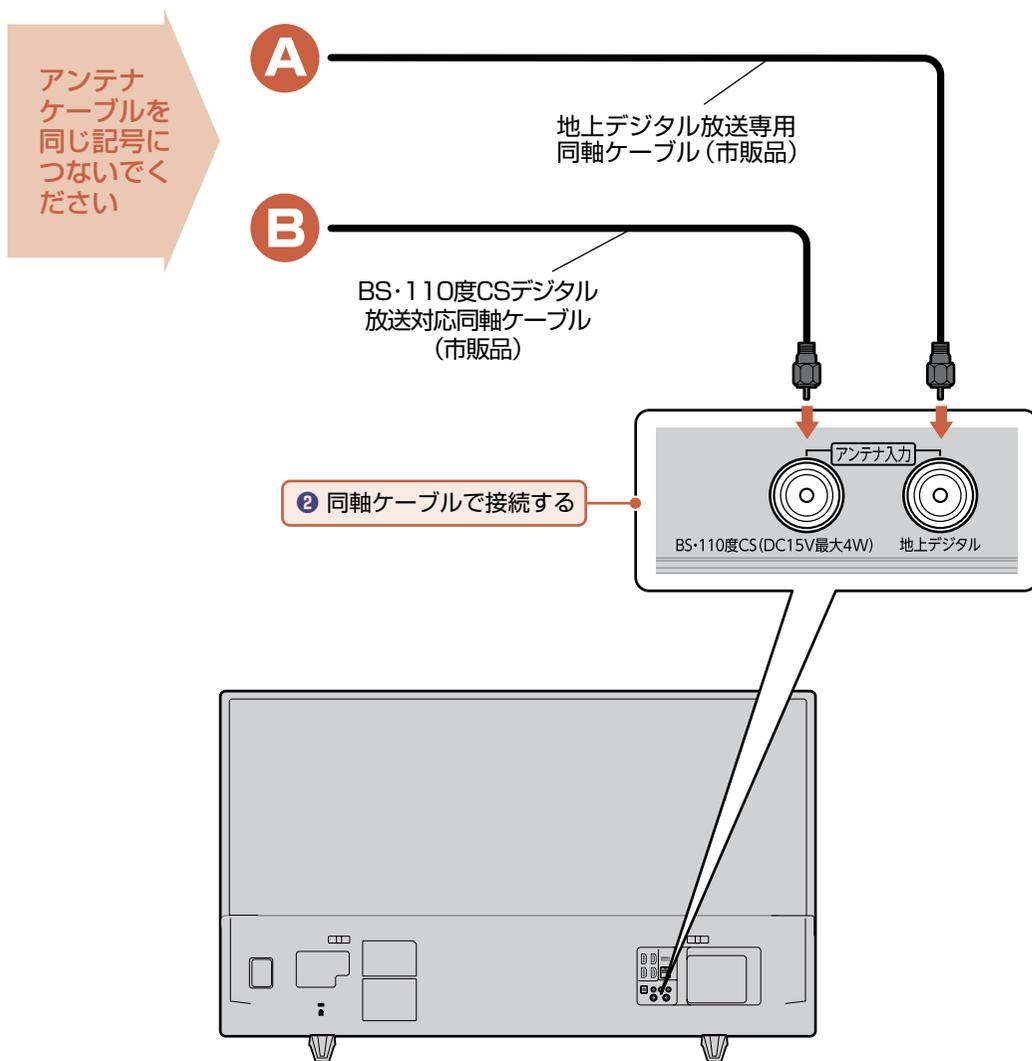


▶ アンテナ端子が別々のときは



ご注意

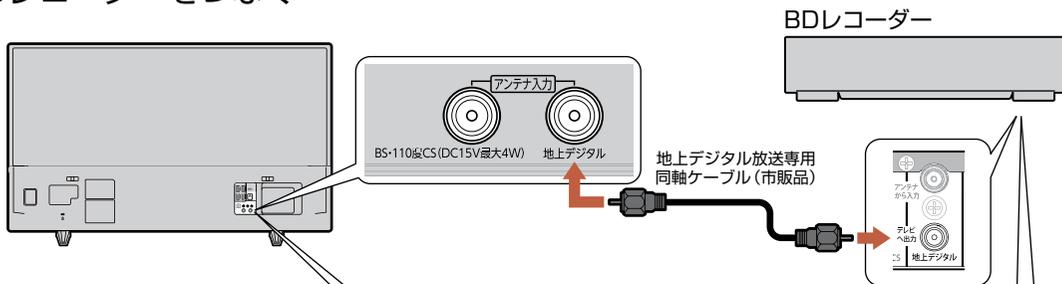
- BSアンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定をおこなってください。電源設定を正しくおこなわないと、受信ができないことがあります。
 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」



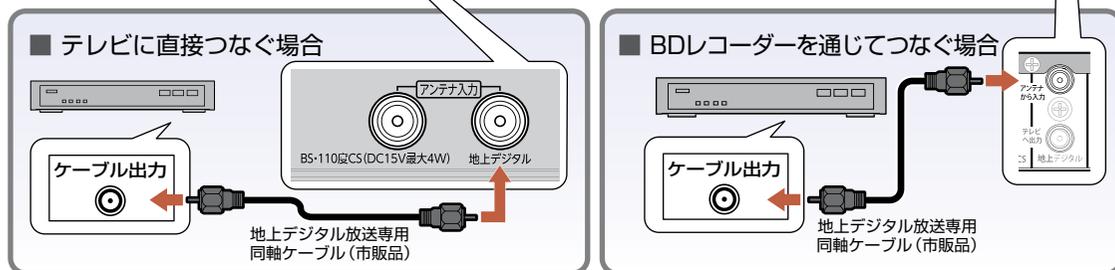
アンテナや外部機器をつなぐ(つづき)

BDレコーダーまたはCATV(ケーブルテレビ)チューナーをアンテナでつなぐ

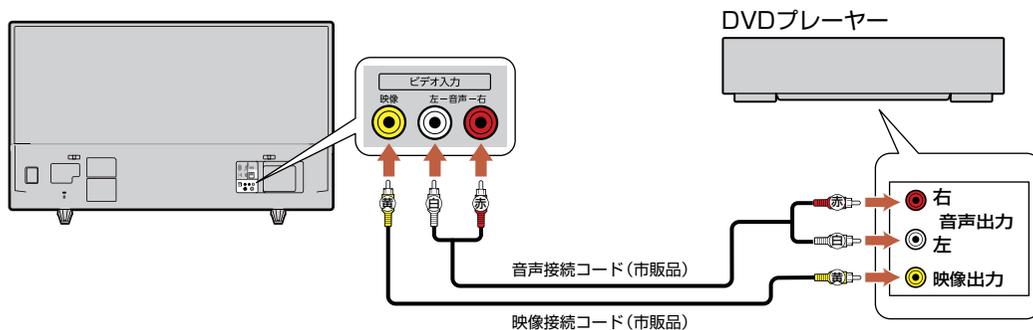
BDレコーダーをつなぐ



CATVチューナーをつなぐ



DVDプレーヤーとつなぐ(HDMI出力が無い機器)



お知らせ

- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、**[画面サイズ]**でお好みの画面サイズを選んでください。
[E/M]「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「画面サイズを選ぶ」
- つないだ機器で見るときは、入力切替で**[ビデオ]**を選んでください。

ご注意

- DVDプレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面サイズの設定を16:9にしてください。
 4:3(レターボックス、パンスキャンなど)に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

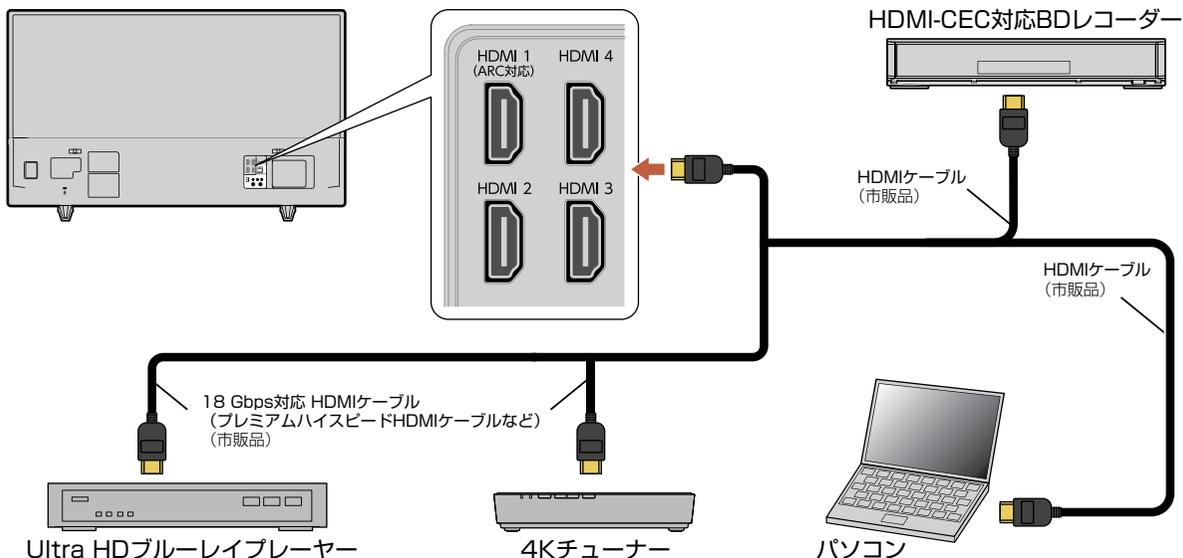
HDMI機器をつなぐ

BDレコーダーなどの外部機器と本機を接続する場合は、外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子(1~4)をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。

また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。(当社製BDレコーダーでは**【機器制御】**を有効に設定してください。)HDMI機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC対応機器を操作する」をご覧ください。

EM 「外部機器を使う」 ➔ 「HDMI-CEC対応機器を操作する」

例: HDMI-CEC対応BDレコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
480i, 480p, 720p,
1080i, 1080p 24 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz,
2160p 24 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz
- 対応している音声信号
種類: リニアPCM, ドルビーデジタル, ドルビーデジタルプラス
サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
- HDMI機器の映像や音声を楽しむときは、**【入力切換】**で**【HDMI1~4】**を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえでご使用ください。
- HDMI入力が正しく映らない場合は、**ホーム** ➔ **【設定する】** ➔ **【機能設定】** ➔ **【接続機器設定】** ➔ **【HDMI信号フォーマット】**で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。

ご注意

- HDMIケーブルは、HDMI規格で認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4KチューナーやUltra HDブルーレイプレーヤーなどで4K映像や4K HDR映像を視聴する場合は、18 Gbps対応HDMIケーブル(プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)をご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンとの接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ARC対応のオーディオ機器をつなぐ

▶ ARC(オーディオリターンチャンネル)について

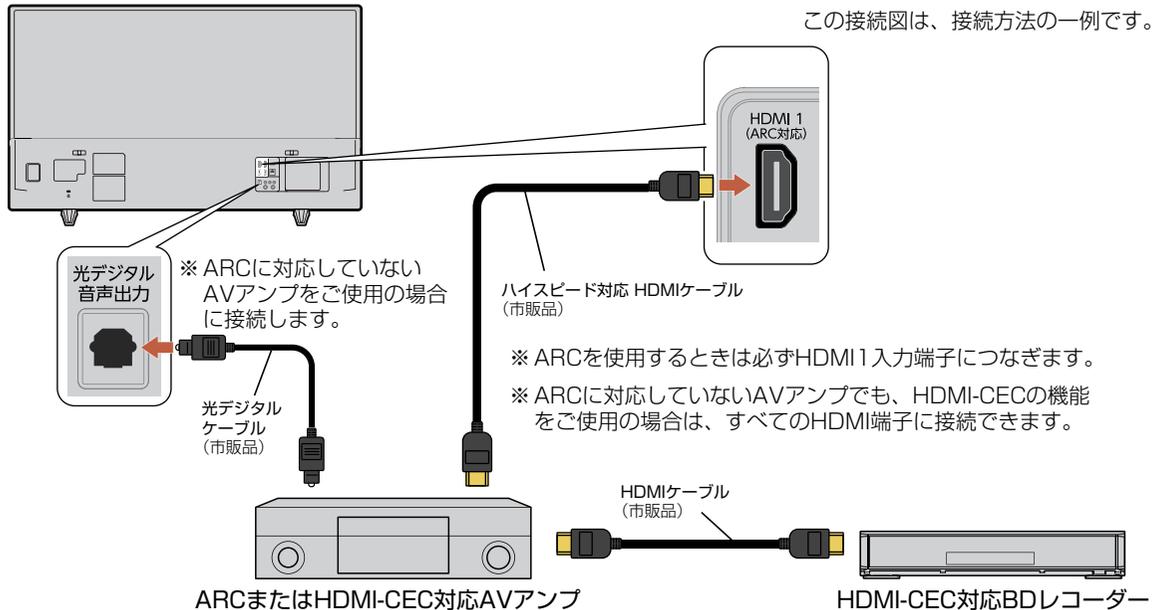
テレビとオーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)をHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもオーディオ機器もARCに対応している必要があります。

例: ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。

【E/M】「外部機器を使う」→「HDMI-CEC対応機器を操作する」→「HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する」
接続後は、下記の設定をする必要があります。

- **[HDMI機器連動]**を**[入]**に設定する。
【E/M】「各種設定」→「接続機器の設定をする」→「HDMI-CECを設定する」
- 光デジタル音声出力接続時は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**を設定する。
【E/M】「各種設定」→「音声を設定する」→「デジタル音声出力」
- **[スピーカー出力]**を**[外部音声機器]**に設定する。
【E/M】「各種設定」→「音声を設定する」→「スピーカー出力」



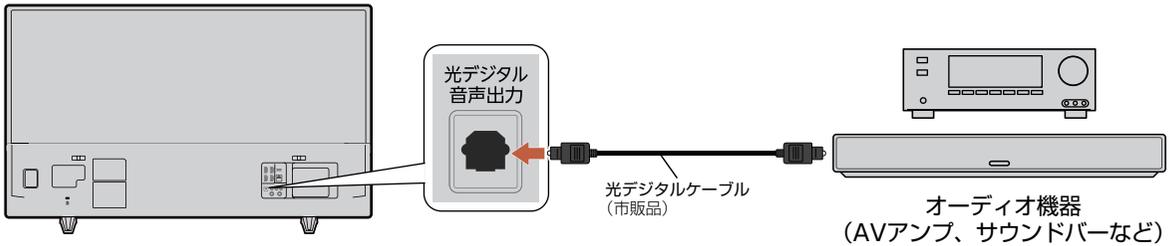
【注意】

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、BDレコーダーなどの周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源がオフになっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。電源オンやスタンバイモードにしてください。
- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、光デジタル音声出力もAVアンプと接続してください。(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です。)AVアンプの電源がオンのとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるように設定してください。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI1入力端子につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。また、製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC対応AVアンプがPCMしか対応していないときは、**ホーム** → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[音声設定]** で**[デジタル音声出力]**を**[PCM]**に設定してください。
【E/M】「各種設定」→「音声を設定する」→「デジタル音声出力」
- **[HDMI機器連動]**を**[切]**に設定しているときは **ホーム** → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[接続機器設定]** → **[HDMI機器連動設定]**で**[HDMI機器連動]**を**[入]**に設定してください。

光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続

光デジタル音声入力端子を持つオーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**の設定が必要です。

[EM] 「各種設定」 ➡ 「音声を設定する」 ➡ 「デジタル音声出力」



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、光デジタル音声入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- オーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)を使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にするか、**[スピーカー出力]**を**[外部音声機器]**にしてください。
[EM] 「各種設定」 ➡ 「音声を設定する」 ➡ 「スピーカー出力」

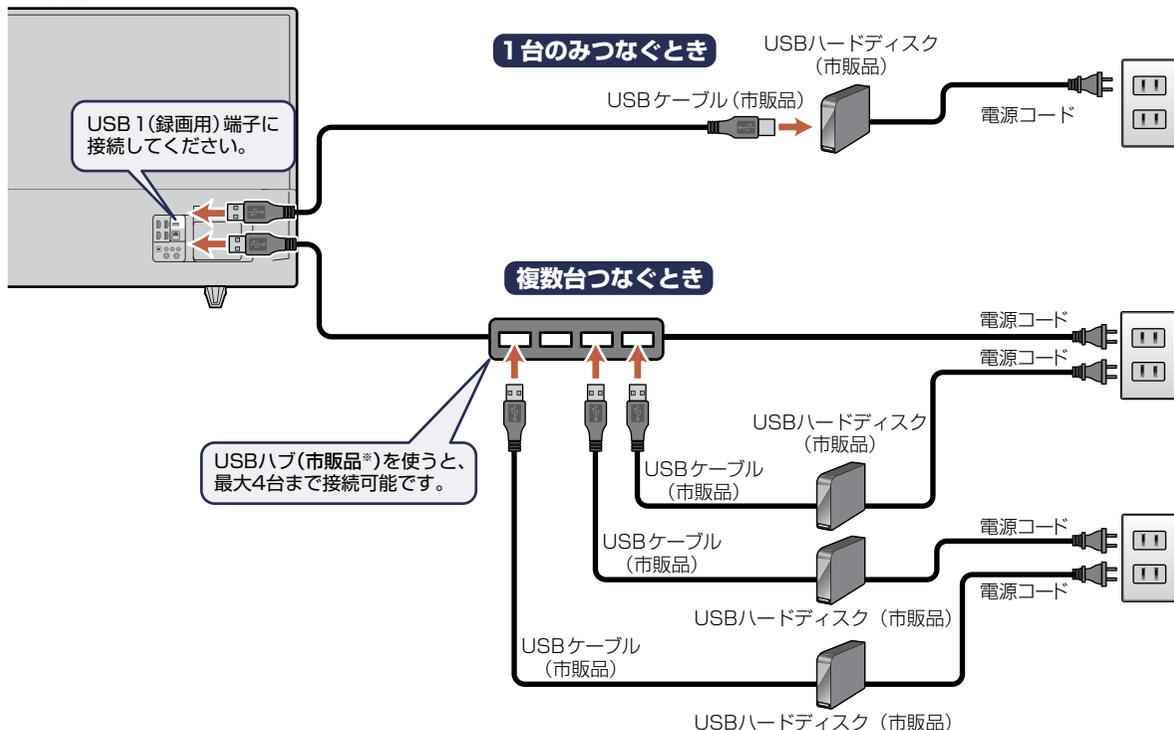
ご注意

- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ずオフにしてください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクをつなぐ

- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクは必ずUSB 1 (録画用)端子に接続してください。
- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSBハードディスクの電源をオンにしてください。

本機背面



※セルフパワー型のUSBハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、当社製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ(funai.jp/cs/device/)でご確認ください。

次のようなことはおこなわないでください。

- USB機器の動作中に、USBメモリーやUSBハードディスクの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。
- USB機器の動作中に、USBハードディスクや本機の電源をオフにしない。

USB機器の故障やデータが消失する恐れがあります。

USBハードディスクは、製品に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

▶ USBハブを使うときは

- USBハブを使うときに接続するUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をご使用ください。(バスパワー型をUSBハブに接続したとき、製品供給電力をこえる場合は動作しません。) **P.13**
- USBハブに使用するACアダプターは、専用のACアダプターをご使用ください。
- USBハードディスク／SeeQVaultハードディスク名や接続場所などを特定しやすくするために、登録や初期化の処理を1台ずつ接続しておこなうことをおすすめします。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続したときは、本機がUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクを認識しない場合があります。

▷ 通常録画用USBハードディスクを接続したあとは

- 本機にUSBハードディスクを通常録画用として登録してください。
(本機に登録していないUSBハードディスクはお使いになれません。)
- 未登録のUSBハードディスクを接続すると、登録設定の確認画面が表示されますので、**[はい]**を選んで **決定** を押してください。
そのあと、「USBハードディスクを通常録画用として登録する」の手順 **3** に進んでください。
EM 「外部機器を使う」 → 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクを接続・設定する」 → 「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

▷ SeeQVaultハードディスクを接続したあとは

- 当社製のSeeQVault対応機器で、SeeQVaultハードディスクとして登録するなど他機種での使用も想定して使用していたSeeQVaultハードディスクは、そのまま本機で使用できます。
- 他社のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVaultハードディスクは、本機で使用できない場合があります。初期化をおこなうと使用できる場合がありますが、他社のSeeQVault対応機器で記録した番組がすべて消去されますので、消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。
- 初期化していないSeeQVaultハードディスクを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
- SeeQVaultハードディスクとして使用する場合は、**[SeeQVault用として他機でも使用する]**を選んで **決定** を押してください。
そのあと、「SeeQVaultハードディスクを初期化する」の手順 **3** に進んでください。
EM 「外部機器を使う」 → 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクを接続・設定する」 → 「SeeQVaultハードディスクを初期化する」
- 通常録画用として使用する場合は、**[通常録画用として登録する]**を選んで **決定** を押してください。
そのあと、「USBハードディスクを通常録画用として登録する」の手順 **3** に進んでください。
EM 「外部機器を使う」 → 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクを接続・設定する」 → 「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

通常録画用として登録すると、本機でのみ再生や録画が可能となります。

▷ USBハードディスクまたはUSBハブを取りはずすには

セルフパワー型のUSBハードディスクまたはUSBハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源をオフにしてからUSBハードディスクまたはUSBハブの電源をオフにして取りはずしてください。

▷ SeeQVaultハードディスクを取りはずすには

SeeQVaultハードディスクを本機から取りはずすときは、必ず **ホーム** → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[接続機器設定]** → **[USB-HDD設定]** → **[SeeQVault用]** → **[SeeQVault-HDDの取り外し]** を実行してから取りはずしてください。

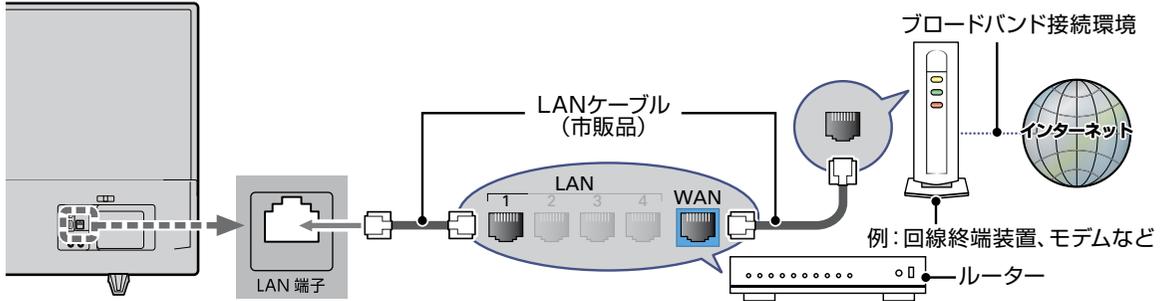
お知らせ

- USB 1 (録画用) 端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 登録可能なUSBハードディスクを接続しても登録設定の確認画面が表示されなかった場合は、**ホーム** → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[接続機器設定]** → **[USB-HDD設定]** から **[通常録画用]** → **[USB-HDD登録設定]** を選んで登録してください。

ネットワークをつなぐ

LANケーブルを使ってつなぐ

接続後は、**EM**「各種設定」 ➔ 「ネットワークを接続・設定する」をご覧ください。



デジタル放送のデータ放送をおこなっている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境(FTTH、CATVなど)をお持ちの場合は、本機のLAN端子を使用することによりネットワークによるソフトウェアの更新や、一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。

▶ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器に、1000Base-T / 100Base-TX / 10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- ネットワーク接続の動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。

▶ 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万が一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▶ すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターなどの設定はできません。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

▶ ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者へお問い合わせください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリ5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離れてみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、次の手順でご確認ください。
 - ホーム ➔ **[設定する]** ➔ **[ネットワーク設定]** ➔ **[ネットワーク接続状態]**を選んで **決定** を押してください。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

「かんたん一括設定」をする

接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、テレビ画面に**「かんたん一括設定」**の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- **「かんたん一括設定」**は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯におこなってください。チャンネルが飛ばされるように設定され、視聴可能なチャンネルが選べなくなります。
- **「かんたん一括設定」**実行中は、電源プラグを抜いたり電源をオフにしないでください。転居でお住まいの地域が変わったときなど、**「かんたん一括設定」**をやりなおしたいときは「かんたん一括設定で再設定する」をご覧ください。P.46

かんたん一括設定(基本設定)

- 1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、**次へ**が選ばれているので **決定** を押す



- 確認画面が表示され、**次へ**が選ばれているので、そのまま **決定** を押してください。
 - **「かんたん一括設定」**の開始画面が表示されない場合は、「かんたん一括設定で再設定する」の手順をおこなってください。P.46
- ▷ アンテナ線の接続のしかたについては「アンテナや外部機器をつなぐ」をご覧ください。P.16
- ▷ miniB-CASカードの入れかたについては本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。くわしくは「miniB-CASカードについて」をご覧ください。P.12
miniB-CASカードの入れかたについては、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。miniB-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。



警告

miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

チャンネル設定(地域設定)

- 2 **1** ~ **10** で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、**次へ**が選ばれている状態で **決定** を押す

- ▷ 入力を間違えたときは

番号消去 を選んで **決定** を押して一括消去するか、**▲**・**▼**・**◀**・**▶** で戻って入力しなおしてください。

- 3 お住まいの県域を選んで **決定** を押す

- 自動で検出された**「県域設定」**がお住まいの県域になっていない場合は、**いいえ**を選んで、県域選択画面より選びます。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、**東京都(島部)**を選びます。
- 南西諸島鹿児島島地域は、**鹿児島県(島部)**を選びます。

次ページへつづく ➡

「かんたん一括設定」をする(つづき)

チャンネル設定(地上デジタル)

4 地上デジタル設定の確認画面が表示されるので、**はい**を選んで **決定** を押す

- **はい**を選んで **決定** を押すと地上デジタル放送チャンネルのスクランが始められます。(スクランが完了するまで10分程度かかることがあります。)
- **いいえ**を選んで **決定** を押すと地上デジタル放送チャンネルのスクランをおこないません。手順 **6** に進んでください。
- スクランが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、確認画面に結果が表示されます。

5 **次へ**を選んで **決定** を押す

- ▷ **[壁などのアンテナ端子とつながっているアンテナ線が、地上デジタルの入力端子につながっているか確認してください。]**が表示されたときは **閉じる** が選ばれているので **決定** を押して、アンテナ⇄本機の接続をご確認後、**再スキャン**を選んで **決定** を押してください。再度、地上デジタル設定が始まります。

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは(地上デジタル放送のとき)」の「地上デジタル放送が映らない。」をご覧ください。P.54▶

チャンネル設定(BS/CS)

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、BS・CSデジタル設定が必要です。アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

6 BS・CSデジタル放送を受信・取得するかしないかを選んで **決定** を押す

- **受信・取得** を選ぶと、情報取得が始まります。(情報取得が完了するまで数十秒程かかることがあります。)
- **取得しない** を選ぶと、情報取得がスキップされます。
- ▷ **[情報を取得できませんでした]**が表示されたときは 情報取得をスキップする場合は **次へ** を選んで **決定** を押してください。再度情報を取得する場合は、**戻る** を選んで **決定** を押し、アンテナ⇄本機の接続をご確認後、**受信・取得** を選んで **決定** を押してください。再度、情報取得が始まります。

クイック起動設定

7 クイック起動設定を入にするかしないかを選んで **決定** を押す

- **入** を選ぶと、クイック起動を有効にし起動時間が短くなりますが、電源オフ(待機)時の消費電力が増加します。
- **切** を選ぶと、クイック起動を無効にします

8 続けて設定をおこなうか、かんたん一括設定を終了するかを選んで **決定** を押す

- **続けて設定をおこなう** を選ぶと詳細調整の画面が表示されますので、手順 **9** に進んでください。
- **かんたん一括設定を終了する** を選ぶとメッセージが表示されます。**完了** が選ばれているので **決定** を押すと、**[かんたん一括設定]** が完了します。

かんたん一括設定(詳細設定)

ネットワーク設定

ネットワーク環境に合わせて設定してください。

▶ 準備

- あらかじめ本機をLANケーブルでネットワークに接続してください。

9 ネットワークを設定するかしないかを選んで を押す

- **はい** を選んだ場合は、**[ネットワーク設定]**の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続確認を開始します。接続確認が終わると確認画面が表示されます。
次へ を選んで  を押して、手順 **10** 「テレビの設置設定」に進んでください。
ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動で設定してください。
[EM] 「各種設定」 → 「ネットワークを接続・設定する」 → 「通信設定」をご覧ください。
- **いいえ** を選んだ場合は、手順 **10** 「テレビの設置設定」に進んでください。

テレビの設置設定

本機の設置方法によって設定を変更してください。

10 テレビの設置設定を選んで を押す

エコ設定(映像モード設定)

映像モード設定を切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

11 映像モードを省電力に適した設定にするかどうかを選んで を押す



- この手順で映像モード設定を切り換えずに、かんたん一括設定完了後、**[メニュー]** → **[映像モード]** で切り換えることもできます。**[P.31]**

▷ 画面の明るさを調整するには

ホーム → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[画質設定]** → **[明るさ]** で好みの画質(明るさ)に調整することができます。画面を暗くすると、消費電力の節約になります。

[EM] 「各種設定」 → 「画質を設定する」 → 「明るさ/色の濃さ/色温度/シャープネス」

12 **完了** を選んで を押す

- **[かんたん一括設定]** が完了します。
かんたん一括設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
このようなときは、「困ったときは」をお読みになり、症状をご確認ください。**[P.53]**
- ▷ **テレビの見かたについて**
[EM] 「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「デジタル放送を見る」
- ▷ **好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには**
[EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」

ホーム画面について

いろいろな機能を呼び出せます。操作ができない項目はグレーで表示され、選択できません。

基本的な使いかた

1 ホーム を押して、ホーム画面を表示する

- ホーム画面表示中に押すと、ホーム画面を終了します。

2 項目を選んで **決定** を押す

ホーム画面



各項目で操作できる内容

以下、すべての機能をご利用いただくためには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

録画した番組を見る

新しく録画した番組や録画一覧を表示します。

録画一覧 [P.42](#)

再生やダビングをする

録画した番組、写真／動画／音楽ファイルなどの一覧を表示します。
また、録画した番組のコピー／移動ができます。

録画一覧 [P.42](#)

USB再生

[EM] 「外部機器を使う」 → 「USBメモリーのファイルを表示する」 → 「ファイルを表示する」

ダビング

[EM] 「ダビングする」 → 「複数の番組をまとめてダビングする」

設定する

本機の設定やお知らせを表示します。

〈機能設定〉

画質設定 **[EM]** 「各種設定」 → 「画質を設定する」

音声設定 **[EM]** 「各種設定」 → 「音声を設定する」

省エネ設定

制限設定 **[EM]** 「各種設定」 → 「制限を設定する」

接続機器設定

録画設定 [P.33](#)

その他の設定

[EM] 「各種設定」 → 「その他の設定をする」

初期化 [P.48](#)

〈ネットワーク設定〉

ネットワーク接続設定

[EM] 「各種設定」 → 「ネットワークを接続・設定する」

〈放送受信設定〉

[EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」

地上デジタル設定

BS/CS設定

共通設定

番組を録画する

デジタル放送の番組表を表示したり、録画予約を確認したりできます。

番組表 [P.34](#)

新番組

注目番組

[EM] 「録画する」 → 「注目番組一覧から予約する」

予約一覧 [P.37](#)

番組検索

〈かんたん一括設定〉

かんたん一括設定 [P.46](#)

〈お知らせメール〉

[EM] 「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「お知らせメールについて」

放送メール

CS1ボード

CS2ボード

〈自己診断機能〉

本体

放送チャンネル **[EM]** 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」

USB-HDD **[EM]** 「外部機器を使う」 → 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクを接続・設定する」 → 「USBハードディスクを通常録画用として登録する」、「SeeQVaultハードディスクを初期化する」

USBメモリー **[EM]** 「外部機器を使う」 →

「USBメモリーのファイルを表示する」

マニュアルを見る

電子マニュアルを表示します。

電子マニュアル [P.10](#)

デジタル放送について

本機は、地上デジタル／BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。

UHFアンテナ(地上デジタル対応)や衛星アンテナ(BS・110度CSデジタル対応)を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のサイト <https://www.apab.or.jp/>をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV(ケーブルテレビ)で受信することもできます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が放送されているかは、CATV放送会社にお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。本機はすべての周波数(VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯)に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送をおこなっています。有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■ 「WOWOW」カスタマーセンター

TEL:フリーダイヤル 0120-580-807

受付時間 9:00 ~20:00(年中無休)

<https://www.wowow.co.jp/>

■ 「スターチャンネル」カスタマーセンター

TEL:0570-013-111 または 044-540-0809

受付時間 10:00 ~18:00(年中無休)

<https://www.star-ch.jp/>

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星(Communication Satellite)を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー !」への加入申し込みと契約が必要です。110度CS デジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

■ 「スカパー !」カスタマーセンター(総合窓口)

TEL:フリーダイヤル 0120-039-888

受付時間 10:00 ~20:00(年中無休)

<https://www.skyperfectv.co.jp/>

デジタル放送でできること

画面表示を確認する

現在視聴している番組名、チャンネル番号、放送や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

画面表示を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。
- 外部入力について詳しくは [EM] 「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「画面表示を確認する」をご覧ください。

▶ デジタル放送のとき



現在放送中の番組

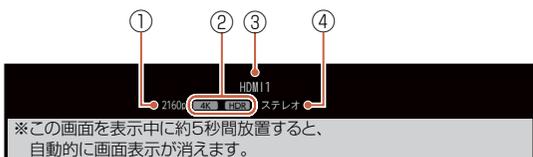
- ① リモコンのボタン番号
- ② 放送の種類
- ③ 放送局のロゴ
- ④ 放送局の3桁のチャンネル番号
- ⑤ 放送局名
- ⑥ 現在放送中の番組名
- ⑦ 番組の放送日時
- ⑧ 現在時刻
- ⑨ 音声の種類※

お知らせ

- 本機の動作状態(放送の視聴中や再生中、録画中など)によって、表示される情報が変わります。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

※ デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主/副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名(視聴中の番組により「日本語」、「英語」など、表示が異なります)があります。

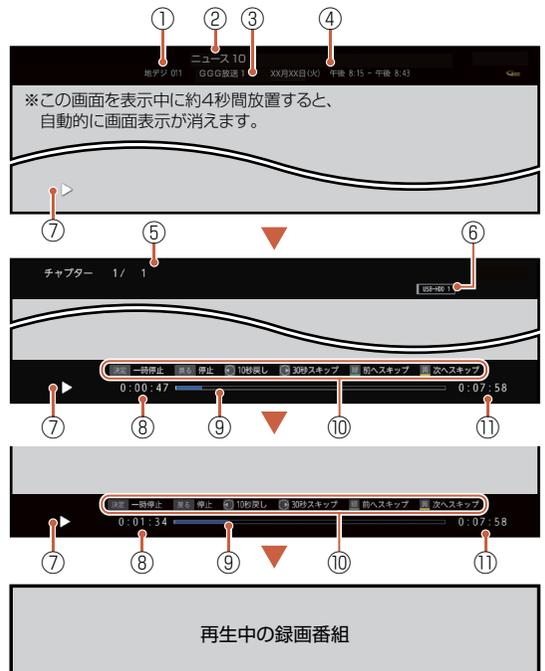
▶ 外部入力のとき



現在放送中の番組

- ① 解像度
- ② 4K/HDRアイコン(信号受信時のみ)
- ③ 外部入力の種類
- ④ 音声の種類

▶ 録画番組を再生しているとき



- ① 放送の種類/放送局の3桁のチャンネル番号
- ② 録画番組名
- ③ 放送局名
- ④ 録画番組の録画日時
- ⑤ 現在のチャプター番号/総チャプター数
- ⑥ 録画番組を保存しているメディアの種類
- ⑦ 動作状態
- ⑧ 再生時間
- ⑨ タイムバー(再生位置の目安)
- ⑩ 操作ガイド
- ⑪ 総再生時間

メニューを使う

メニューを押すと、現在の視聴中の画面に対して、各種設定の変更ができます。

● 映像モード

6つの映像モードから選ぶことができます。

EM「各種設定」 → 「画質を設定する」 → 「映像モード」

● 音声モード

映像に合った音質の設定を6つのモードの中から選ぶことができます。

EM「各種設定」 → 「音声を設定する」 → 「音声モード」

● 画面サイズ

映像に合わせた画面サイズを選べます。選べる画面サイズは、見ている番組や映像の種類によって異なります。

EM「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「画面サイズを選ぶ」

● 放送オプション

チャンネル内の映像を切り換えたり、音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換えたりすることができます。

EM「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「マルチ番組の映像、音声などを切り換える」

EM「視聴する」 → 「デジタル放送でできること」 → 「字幕を出す」

EM「再生する」 → 「再生するときに便利な機能」 → 「音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換える」

● 番組内容

放送中の番組内容を表示します。

EM「再生する」 → 「録画した番組を再生する」 → 「再生中に番組内容を見る」

● ヘッドホン音量

ヘッドホンから出力される音量を調節できます。

EM「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「ヘッドホン音量を変更する」

● オンタイマー

自動的に本機の電源をオンにすることができます。

EM「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「自動的に電源をオンにする(オンタイマー)」

● おやすみタイマー

自動的に本機の電源をオフにすることができます。

EM「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「自動的に電源をオフにする(おやすみタイマー)」

● 消画

音声を出力したまま、画面の映像を表示しないように設定できます。

EM「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「映像を非表示にする(消画)」

● リンクメニュー

音声HDMI-CEC対応機器を操作することができます。

EM「外部機器を使う」 → 「HDMI-CEC対応機器を操作する」 → 「HDMI-CEC対応機器の操作のしかた」

● 対応信号フォーマット

接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。

EM「各種設定」 → 「接続機器の設定をする」 → 「HDMI信号フォーマットを設定する」

● 時計

現在時刻の表示/非表示を切り換えることができます。

● 選局ガイド

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局の一覧を表示します。

録画の前に

本機のハイビジョン画質によるデジタル放送の最大同時録画数は、1番組のみ対応しています。
本機でデジタル放送を録画する場合は、録画モード**DR**(固定)となり、他の録画モードは選べません。
ただし当社製のBDレコーダーと接続している場合は、任意の録画モードでBDレコーダーへ録画予約が可能です。

ご注意

- 本機の不具合または放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画するメディアについて

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限	USB-HDD	SeeQVault-HDD
制限なしに録画可能	○	○
コピーワンス(1回だけ録画可能)	○	○
ダビング10	○※	○※
録画禁止	×	×

○: できる ×: できない

※ SeeQVaultハードディスクに直接録画したダビング10番組は、コピーワンス番組になります。(移動はできます。)

[EM] 「はじめに」 ➔ 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクについて」 ➔ 「SeeQVaultハードディスクってどんな機器?」

ご注意

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- ニカ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限についてくわしくは「ニカ国語・マルチ番組・字幕について」をご覧ください。
[EM] 「さまざまな情報」 ➔ 「ニカ国語・マルチ番組・字幕について」

最大記録可能数／登録数／文字数について

上限をこえる場合は、メッセージが表示されます。

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	USB-HDD	SeeQVault-HDD
番組数	2,000	2,000
チャプター数(1つの番組内)	999	99
作成できるフォルダー数	99	99
チャプター数(USB-HDD/SeeQVault-HDD内)	上限なし	上限なし
USB-HDD/SeeQVault-HDD名の文字数	全角40文字	全角40文字
番組名の文字数	全角40文字	全角40文字

- 視聴予約数※ 最大20件
- 録画予約数※ 最大200件
- ダビングリストの番組登録数 36
- 1番組あたりの連続録画可能時間 15時間

※ 例えば、視聴予約の登録が20件に到達している場合は、録画予約数は180件まで予約可能となります。
録画予約数が200件に到達している場合は、視聴予約はできません。
また、**[ワンタッチ録画の終了方法]**で**[番組が終わるまで]**を選択して録画しているときも録画予約件数に含まれます。

お知らせ

- 文字数は、全角文字/半角カナで計算しています。

放送中の番組を録画する

USB-HDD SeeQVault
+HDD

1 **地上**、**BS** または **CS** を押して、録画したい放送を選ぶ

2 または **1** ~ **12** で録画したいチャンネルを選ぶ

3 **録画** を押す

- **ホーム** → **設定する** → **機能設定** → **録画設定** → **ワンタッチ録画の終了方法** を番組が終わるまでに設定しているときは、番組が終了すると自動的に録画を停止します。

▷ 録画を停止するときは

停止 を押す

- 停止した位置までが1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)
- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。

ご注意

- ダビング中は **録画** を押しても録画できない場合があります。
- 以下の場合は、**[ワンタッチ録画の終了方法]** は設定できません。
 - 録画中

お知らせ

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、**画面表示** を2回押して画面表示を表示すると確認できます。

指定した時間で録画を終了するには(ワンタッチタイマー録画)

USB-HDD SeeQVault
+HDD

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。

- ワンタッチタイマー録画を利用するときは、**ホーム** → **[設定する]** → **[機能設定]** → **[録画設定]** → **[ワンタッチ録画の終了方法]** を **[停止ボタンを押すまで]** に設定してください。

「放送中の番組を録画する」の手順 3 で録画を開始後、**録画** を2回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。(2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。)

- 最大4時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻りたいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か **録画** を押してください。
- 録画時間を設定しないときは、15時間で録画が自動的に停止します。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、**録画** を押してください。

▷ ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- 1番組だけ録画中の場合は、**停止** を押してください。
- 追っかけ再生中に録画を停止したい場合は、**停止** で追っかけ再生を停止し、**戻る** を押し現在放送中の番組を表示し、**停止** を押して確認画面で **はい** を選んで **決定** を押す。
- ワンタッチタイマー録画中の一時停止はできません。

番組表(Gガイド)でできること

番組表について

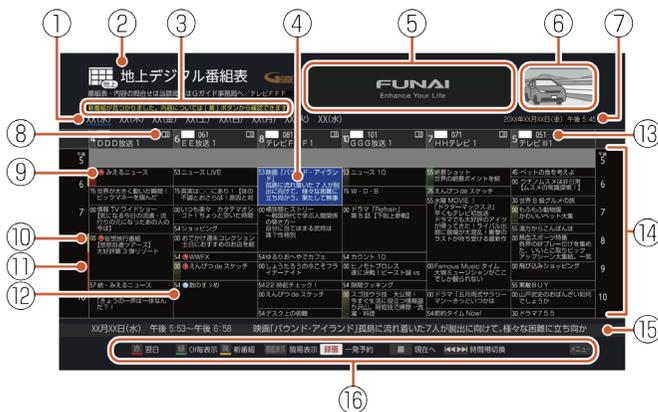
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。

番組表 を押して、**地上**、**BS** または **CS** で好みの放送の種類を選ぶ

- 番組表を表示中に **画面表示** を押して、簡易番組表に切り換えることもできます。

番組表の見かた

番組表 (全画面) の表示例



① 現在の日付から8日分の日付表示

② 放送の種類

③ 新番組のお知らせ

④ 選択中の番組

⑤ 広告

⑥ 現在視聴中の放送局の映像

⑦ 現在の日時

⑧ マルチ表示

⑨ :録画予約済み

⑩ :これ以上録画予約できない時間帯 (黄色帯)

⑪ :重複のためすでに録画できない番組が存在する時間帯 (赤色帯)

⑫ :視聴予約済み

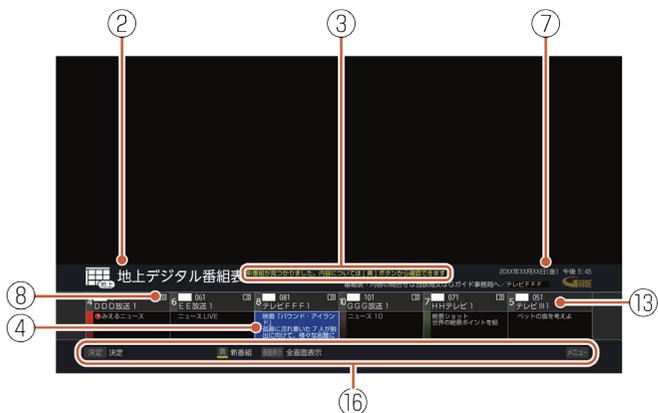
⑬ 放送局のロゴ/放送局の3桁のチャンネル番号/放送局名

⑭ 時間

⑮ 選択中の番組の放送日時、かんたんな情報

⑯ 操作ガイド

簡易番組表の表示例



- 録画番組の重複により、これ以上録画予約できない時間帯(⑩)を黄色で表示し、重複のためすでに録画できない番組(⑪)が存在する時間帯を赤色で表示します。
- 色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻の帯が設定した色に変わります。

日付を切り換える

-  を押すと翌日の番組表に切り換えます。
-  を押すと前日の番組表に切り換えます。

ご注意

- 簡易番組表では、**[日付選択]**の表示を切り換えることができません。

現在の番組を表示する

停止  を押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

CH毎表示／全CH表示に切り換える

選んだチャンネルの8日分の番組表を表示させることができます。

- チャンネルを選んで  を押す
 - **CH毎表示** では、曜日表示の  と  の背景色が他の曜日表示と異なる色で表示されます。
 - **全CH表示** に戻すには、 を押します。

ご注意

- 簡易番組表では、**[CH毎表示／全CH表示]**の表示を変更することができません。

ページを切り換える

-  ・  を押すと、**表示時間数切換** で設定した時間に応じて上下にページが切り換わります。
- **表示時間数切換** は2時間、4時間および6時間に設定できます。
- **スキップ**したチャンネル数やお住まいの地域(県域)で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

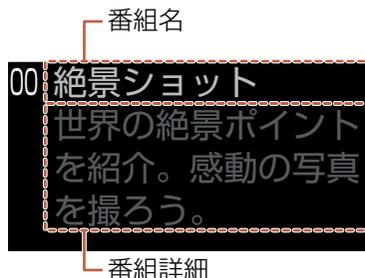
ご注意

- 簡易番組表では、**[表示時間数切換]**の表示を切り換えることができません。

番組詳細の表示を切り換える

番組表で番組詳細を表示するかしないかを切り換えることができます。

- ①  を押す
- ② **番組詳細表示切換** を選んで  を押す



- ③ **表示する** または **表示しない** を選んで  を押す

ご注意

- 出荷状態では**[表示しない]**が選ばれています。番組詳細を表示する場合は、**[表示する]**を選んでください。

ジャンル色分けを変更する

番組表に表示されるジャンルの色分けを変更することができます。

- ①  を押す
- ② **ジャンル色分け** を選んで  を押す
- ③ **任意の色を選んでジャンルを設定する**

ご注意

- 簡易番組表では、**[ジャンル色分け]**の表示を変更することができません。

番組表から一発予約で予約する

USB-HDD SeeQVault
-HDD

一発予約を実行するには、本機にあらかじめ登録されたUSBハードディスクを接続しておく必要があります。

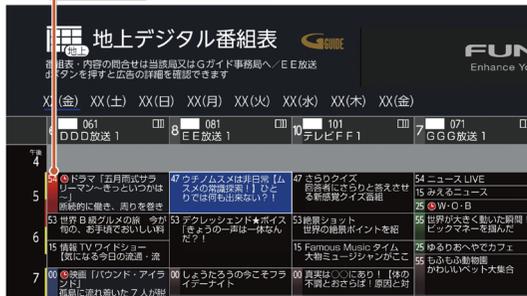
1 番組表 を押す

2 地上、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 予約したい番組を選んで 録画 を押す

- USBハードディスクへの録画予約が確定し、選んだ番組に **録画** が表示されます。
- 番組表に **録画** を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 **録画** が表示されます。
- 予約録画が始まると、下記の帯部分が赤い表示に変わります。

赤い表示に変わります。



- **録画** を使った一発予約では、録画先はUSBハードディスクになります。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、**戻る** を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源をオフにすることをおすすめします。(電源オフの状態でも予約録画は実行されます。)

▷ 予約の内容を変更したいときは

- ① 一発予約した番組を選んで **決定** を押す
- ② **予約修正** を選んで **決定** を押す
- ③ 予約の内容を変更する

- くわしくは「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」の手順 **6** 以降をご覧ください。
[EM]「録画する」→「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」

▷ 予約の確認・変更・消去をするときは

予約の確認「設定済みの録画予約を確認する」、予約の変更「設定済みの録画予約の内容を変更する」、予約の消去「不要な録画予約を取り消す」をご覧ください。[P.37](#)、[P.39](#)

▷ 録画を停止するときは

現在放送中の番組を視聴中に **停止** を押す、または番組表から録画中の番組を選んで **録画** を押す

- 停止した位置までが1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)
- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。

お知らせ

- 予約が重なったときは、「予約が重なったときは」をご覧ください。[P.40](#)

録画予約を確認・変更・消去する

設定済みの録画予約を確認する

USB-HDD SeeQVault+HDD

予約一覧で録画予約を確認することができます。

ホーム → 番組を録画する → 予約一覧を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に **メニュー** を押して、**予約一覧** を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、**戻る** を押してください。

予約一覧の見かた



- ① 予約結果のお知らせ
- ② 現在の日時
- ③ 番組名
- ④ 予約日時、放送局名
- ⑤ 録画先メディア
- ⑥ スキップ設定をしている予約
- ⑦ 操作ガイド

- 録画中の予約には、**録画** が表示されます。
- **重複** が表示されたときは、「重なっている予約を確認するときは」をご覧ください。P.40
- **[予約結果のお知らせ]**フォルダーについて詳しい説明は
[EM] 「録画する」 → 「録画についての補足説明」 → 「予約録画が正常におこなわれなかったときは」

設定済みの録画予約の内容を変更する

予約一覧または番組表から録画予約の内容を変更することができます。

予約一覧から録画予約の内容を変更する

USB-HDD SeeQVault+HDD

1 ホーム → 番組を録画する → 予約一覧を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に **メニュー** を押して、**予約一覧** を選んで操作することもできます。

2 変更したい録画予約を選んで **メニュー** を押す

3 **予約修正** を選んで 決定 を押す

録画予約を確認・変更・消去する(つづき)

4 変更したい項目へ移動して、内容を変更する



- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

5 設定内容を変更したい項目を選んで **決定** を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	USB-HDD○:XXX [※]
	SeeQVault-HDD○:XXX [※]
	HDMI○:XXX [※]

[※] [USB-HDD]、[SeeQVault-HDD]の「○」は番号、「X」はUSB-HDD名を表示します。
[HDMI]の「○」は番号、「X」はデバイス名を表示します。

フォルダー設定	すべて(指定しない) <ul style="list-style-type: none"> [すべて]および[ジャンル]に保存されます。
	新規フォルダー <ul style="list-style-type: none"> お好みの名前のフォルダーを作成できます。
	新規フォルダー(番組名) <ul style="list-style-type: none"> 録画予約する番組と同じ名前でフォルダーを作成して、録画できます。(フォルダー名はお好みの名前にも変更できます。) 「手動で入力して予約する(日時指定予約)」で予約した番組では選べません。
	作成したフォルダー

- ▷ 録画モードについて
「録画モードについて」をご覧ください。

6 すべて設定が終わったら、**決定**へ移動して、**決定**を押す

- 予約が確定し、**予約一覧**に戻ります。
- 設定が終わったら、**戻る**を押してください。

- ▷ 予約が重なったときは
「予約が重なったときは」をご覧ください。P.40

番組表から録画予約の内容を変更する

EM 「録画する」 ➡ 「録画予約を確認・変更・消去する」 ➡ 「設定済みの録画予約の内容を変更する」 ➡ 「番組表から録画予約の内容を変更する」をご覧ください。

録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)

EM「録画する」→「録画予約を確認・変更・消去する」→「録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)」をご覧ください。

不要な録画予約を取り消す

番組表または予約一覧から不要な録画予約を取り消すことができます。

番組表から録画予約を取り消す

USB-HDD SeeQVault-HDD

録画予約の取り消しは1予約ずつとなります。

1 番組表 を押す

2 録画予約を取り消したい番組を選んで 録画 を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで **決定** を押してください。
- 録画予約が取り消され、選んだ番組から **録画** が消えます。
- **録画** の代わりに **決定** を押して番組内容を表示させ、**予約消去**を選んで **決定** を押して録画予約を取り消すこともできます。
- 設定が終わったら、**戻る** を押してください。

予約一覧から録画予約を取り消す

USB-HDD SeeQVault-HDD

1 ホーム → 番組を録画する → 予約一覧 を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に **メニュー** を押して、**予約一覧**を選んで操作することもできます。

2 予約を取り消したい番組を選んで 黄 を押す

- **メニュー** を押して、**予約消去**を選んで操作することもできます。

3 予約を取り消したい番組を選んで 決定 を押す

- 選んだ番組に[**録画**]が付きます。
- **録画** を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- **黄** を押すとすべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、録画予約を取り消したい番組を選んでください。

4 番組を選び終わったら、再生 を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで **決定** を押してください。
- 消去が終わったら、**戻る** を押してください。
- 番組表から録画予約を取り消すこともできます。
EM「録画する」 → 「録画予約を確認・変更・消去する」 → 「不要な録画予約を取り消す」

録画を停止する

USB-HDD SeeQVault-HDD

録画中に、録画を停止できます。

停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで **決定** を押してください。録画が停止します。
- 停止した位置までが1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかります。)

ご注意

- 録画中に一度停止を選択して録画を再開した場合は、番組が分割されます。

録画についての補足説明

録画全般

- 録画中にUSBハードディスクの残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

録画予約全般

予約録画があるときの本機の動き

- ▶ **予約開始時刻の直前になると**
 - 本機の電源がオンのとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源をオフにしても録画は中断されません。
 - 本機の電源がオフのときは、電源がオフのまま録画が実行されます。
- ▶ **予約終了時刻になると**
 - 自動的に録画が終わります。

番組表を使った予約(番組検索、注目番組)

- 番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報(日によって変わることがあります)をもとにおこなうため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。

代理録画

- 予約録画が実行できない状態でも、USBハブで複数台接続されたUSBハードディスクが録画可能な状態であれば他のUSBハードディスクに代理で録画します。(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)
- 以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。(他にも代理録画される場合があります。)
- ▶ **USBハードディスクに予約録画するときに**
 - USBハードディスクの残量時間が足りない
 - 録画可能なUSBハードディスクを接続していない
 - USBハードディスクの登録番号の数字が小さい順に代理録画が実行されます
 - 該当するUSBハードディスクが存在しない場合は、SeeQVaultハードディスクの登録番号の数字が小さい順に実行されます

視聴予約と予約録画が重なったときは

どちらも実行されます。ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。

予約が重なったときは

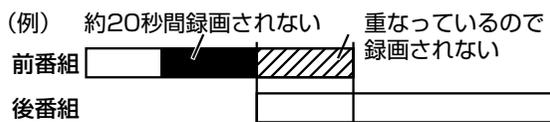
予約を決定するときに確認画面が表示されます。

重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で[はい]を選んで) **決定** を押し、**[予約一覧]** が表示されます。
- 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には **重複** が付いて表示されています。

2つ以上の予約が重なった場合は

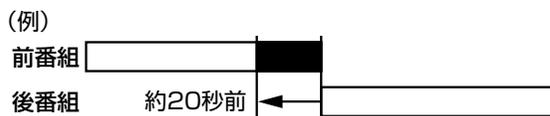
- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。



- ※ ■ の部分(約20秒)は録画されません。
- 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。

1番目の予約の終了時刻と2番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ)の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。



- ※ ■ の部分(約20秒)は録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源がオンになって復帰処理をおこないます。
- 停電によって予約録画が中断したときは、予約一覧でお知らせします。[P.37](#)

録画の種類別では

- ▷ **ワンタッチタイマー録画中に停電したとき**
 - 録画は停電したところで終了します。
 - 復帰処理終了後は電源がオフになります。
- ▷ **予約録画の開始前に停電したとき**
 - 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。
- ▷ **予約録画の実行中に停電したとき**
 - 録画は停電したところで中断します。
 - 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
 - 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源がオフになります。

録画先では

- ▷ **USBハードディスク/SeeQVaultハードディスク**
 - 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
 - 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
 - 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
 - 停電発生の状況によっては、**[すべての初期化]**が必要となることがあります。[P.48](#)
 - USBハードディスクへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によって停電復帰後の予約録画の続きがUSBハブで複数台接続された他のUSBハードディスクに代理録画されることがあります。

予約録画が正常におこなわれなかったときは

- 録画予約の重なりや停電などの要因で録画が正常におこなわれなかった予約は、**[予約結果のお知らせ]**フォルダーにまとめられます。予約一覧で、**[予約結果のお知らせ]**フォルダー内の番組を選んで **[再生]** を押すとお知らせ内容が表示されます。**[戻る]** を選ぶと、そのまま確認画面に戻り、**[お知らせ消去]** を選ぶと予約のお知らせが一覧から消去されます。

- 複数の予約のお知らせを消去するには、**[予約結果のお知らせ]**フォルダーで **[黄]** を押してから消去したい番組を選んで **[決定]** を押します。選んだ番組に **[☑]** がつくので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、**[再生]** を押します。確認画面が表示されるので**[はい]**を選んで **[決定]** を押してください。(予約一覧の表示方法については、「設定済みの録画予約を確認する」をご覧ください。)[P.37](#)
- **[予約結果のお知らせ]**フォルダーにまとめられる番組は、最大30件です。30件をこえた場合は、古い番組から順に消去されます。

お知らせ

- 最大記録可能数/登録数については、「録画の前に」をご覧ください。[P.32](#)

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。
(例)
 - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
 - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
 - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
 - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなる時。
- 自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。
(例)
 - 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK E テレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
 - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」の例に従って録画されます。[P.40](#)
 - 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合のみ有効となります。

録画した番組を再生する

USB-HDD SeeQVault
+HDD

▶ 準備

- USBハードディスクを再生するときは、USB 1（録画用）端子にUSBハードディスクまたはSeeQVaultハードディスクをつないでおく [P.22](#)

■ USBハードディスクやSeeQVaultハードディスクのフォルダーにある番組を消去する場合は、「フォルダーを消去する」をご覧ください。

[EM] 「消去する／編集する」 → 「番組をフォルダーで管理する」 → 「フォルダーを消去する」
また、再生した番組を編集する場合は、「本機でできる消去と編集について」をご覧ください。

[EM] 「消去する／編集する」 → 「番組消去や番組編集の前に」 → 「本機でできる消去と編集について」

録画一覧(録画した番組の一覧)について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。

録画一覧では、録画された番組が並び「番組一覧」を表示します。また、ジャンルやお好みの名前で作成したフォルダーに番組がまとめられた「フォルダー画面」に切り換えることもできます。

録画一覧を表示する

録画一覧 を押す

- 複数のUSBハードディスク(SeeQVaultハードディスク含む)を接続している場合は、一覧が表示されるので、その中の1つを選択します。
- 録画一覧(番組一覧またはフォルダー画面)が表示されます。
- フォルダー画面が表示されたときは、見たい番組が入ったフォルダーを選んで **[決定]** を押してください。
- **[ホーム]** → **録画した番組を見る** → **すべて表示** を選ぶこともできます。
- **録画一覧** を押すと、放送画面に戻ります。

録画一覧の見かた

ご注意

- メディアによって録画一覧の表示は異なります。以下は、「すべて」フォルダー内の番組一覧の表示例になります。



① 番組の種類

NEW :未再生の番組 **[鍵]** :保護された番組

録画中 :録画中の番組

録画が終わると **録画中** が **NEW** になります。

再生すると **NEW** は消えます。

② サムネイル(番組の冒頭画面) ③ 操作中のメディア

④ フォルダーの名前 ⑤ 選択中の番組

⑥ 番組並び順の種類

⑦ 残量(残量が10時間未満になると赤字に変わります。)

⑧ 番組総時間

⑨ 操作ガイド

青 を押すと、USBハードディスクの切り換えができます。

赤 を押すと、並び順を「番組一覧」か「フォルダー画面」に切り換えできます。

⑩ 開始時間

録画一覧から番組を再生する

USB-HDD

SeeQVault
HDD

1 録画一覧を押す

- 複数のUSBハードディスク(SeeQVaultハードディスク含む)を接続している場合は、一覧が表示されるので、その中の1つを選択します。

2 見たい番組を選ぶ

3 再生 または 決定を押す

再生中に番組内容を見る

メニューを押して、番組内容を選んで決定を押す

- 番組内容が表示されます。

再生を一時停止する

一時停止を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生、決定 または 一時停止を押すと再生に戻ります。

再生を停止する

停止を押す

- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)
- レジュームポイントを解除するには、現在放送中の番組を視聴中に停止を押してください。レジュームポイントについて、くわしくは
[EM]「再生する」 → 「録画した番組を再生する」
→ 「レジュームポイントについて」をご覧ください。

▶ 録画中の番組を再生するには

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見ることができます。

[EM]「再生する」 → 「再生するときの操作」 → 「追っかけ再生(録画中の番組を最初から見る)」

再生するときの操作

USB-HDD SeeQVault
+HDD

▶ 準備

- USBハードディスクを再生するときは、USB 1（録画用）端子にUSBハードディスクまたはSeeQVaultハードディスクをつないでおく [P.22](#)

速度を変えて再生する

1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。ゆっくりと番組を視聴する時間がないときに便利です。

早戻し／早送り（早く見る／聞く）

再生中に  ・  を押す

- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。
-  を押すと通常の再生速度に戻ります。

早見再生／ゆっくり再生（音声付きで早く／ゆっくり見る）

再生中に  を押す

- 押すたびに約1.3倍速→約0.8倍速→通常再生と切り換わります。

再生を一時停止する

再生中に  または  を押す

- 再生が一時停止します。
-  または  、  を押すと再生に戻ります。

スロー再生（ゆっくり見る）

再生一時停止中に  を押す

- 押すたびに再生速度を2段階で切り換えます。
-  を押すと通常再生に、 を押すと再生一時停止に戻ります。

スキップ・サーチ（見たい番組や場面までとばす）

スキップ（見たい／聞きたいところまでスキップ・頭出しする）

再生中に  ・  を押す、または  ・  を押す

- 押すたびに、前または次のチャプターにスキップ・頭出しします。（ または  を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターを頭出しします。）

10秒戻し／30秒スキップ

再生中に  ・  を押す

-  を押すたびに、10秒再生を戻します。
-  を押すたびに、30秒再生をスキップします。

サーチ（番組やチャプター、時間などを指定してスキップする）

1 再生中に  を押して、**サーチ** を選んで  を押す

2 お好みのサーチを選ぶ

-  ・  を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- サーチの種類は再生しているメディアによって異なります。

3 数字の入力欄へ移動して、 ・  または **1** ~ **10%** で数値を変更し  を押す

- 指定した番号または時間まで再生がスキップされます。

▶ 入力を間違えたときは  を押す

ご注意

- 指定した番号や時間のチャプターやファイルがないときはスキップはできません。

お知らせ

- 再生中に **1** ~ **10%** を押してチャプターをスキップすることもできます。（音楽ファイルや写真ファイルの再生をのぞく）

番組を消去する

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。
- 録画した番組はフォルダーの中に入っています。

再生後やダビング予定のない不要な番組を消去し、USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクの空き容量を増やすことができます。

▶ 準備

- 録画した番組を消去するときは、USB 1（録画用）端子にUSBハードディスクまたはSeeQVaultハードディスクをつないでおく [P.22](#)

録画一覧から不要な番組を消去する

USB-HDD

SeeQVault
+HDD

1 録画一覧 を押す

- 複数のUSBハードディスク(SeeQVaultハードディスク含む)を接続している場合は、一覧が表示されるので、その中の1つを選択します。

2 消去したい番組を選んで を押す

▷ 番組を複数消去するには

消去したい番組を選んで  を押す

- ▲・▼で消去したい番組をすべて選んでください。
- 選んだ番組に[]が付きます。
-  を押すと、すべての番組に[]が付きます。
-  を押すと、[]がすべて解除されます。
-  を押して **番組消去** を選んで操作することもできます。

3 番組を選び終わったら、 を押す

4 確認メッセージが表示されるので、 **はい** を選んで を押す

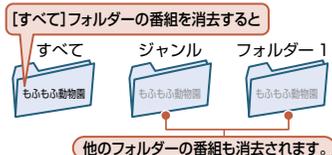
- 選択した番組が一括消去されます。
- ▷ **フォルダー画面で作成したフォルダーを選んでいるときは**
確認画面で消去方法を選んで  を押してください。
 - **このフォルダーから番組を消去** を選ぶと、選んだフォルダー内の番組のみ消去し、**[すべて]**および**[ジャンル]**フォルダーの番組は残ります。
 - **すべてのフォルダーから番組を消去** を選ぶと、本機から選んだ番組を完全に消去します。
 - 消去が終わったら、  を押してください。

ご注意

- ダビング中は番組を消去できません。

お知らせ

- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダーの番組を消去すると別のフォルダー内に入っている番組もまとめて消去します。
- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダーの番組を消去すると、残量時間が増えます。



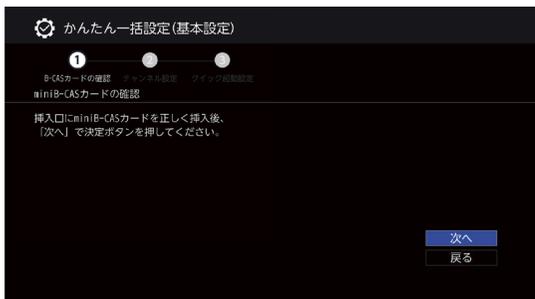
かんたん一括設定で再設定する

テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。

かんたん一括設定を表示する

1

ホームを押して、設定する → **かんたん一括設定**を選んで **決定** を押す



2

「かんたん一括設定」をおこなう [P.25](#)

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは(地上デジタル放送のとき)」をご覧ください。[P.54](#)
- 以下の場合は、**【かんたん一括設定】**を設定できません。
 - 録画中
 - ダビング中

ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう

ネットワークを利用して、ソフトウェアをダウンロードします。

1 **ホーム** を押して、**設定する** → **機能設定** → **その他の設定** → **本機の情報と更新** を選んで **決定** を押す

2 **ネットワークによる更新** を選んで **決定** を押す

3 新しいバージョンのソフトウェアがある場合は、確認画面が表示されるので、**更新する(推奨)** → **はい** を選んで **決定** を押す

- ネットワークを利用して、ソフトウェアをダウンロードします。

4 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押す

- ダウンロード完了後、自動的にソフトウェア更新をおこないます。

ご注意

- 以下の場合、ソフトウェアをダウンロードできません。
 - 録画中
 - ダビング中
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。

お知らせ

- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。

本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報、デジタル著作権管理に関する権利情報などを表示します。

1 **ホーム** を押して、**設定する** → **機能設定** → **その他の設定** → **本機の情報と更新** を選んで **決定** を押す

2 表示させたい情報を選んで **決定** を押す

- ▷ **バージョン情報**
 - **Software version**
ソフトウェアのバージョンを表示します。
- ▷ **ライセンス情報**
本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。
- ▷ **デジタル著作権管理**
デジタル著作権管理に関する権利情報を表示します。

設定を初期化する

本機の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **ホーム** を押して、**設定する** → **機能設定** を選んで **決定** を押す

2 **初期化** を選んで **決定** を押す

3 **すべての初期化** を選んで **決定** を押す

- 暗証番号入力画面が表示された場合は、**1** ~ **100** で **[視聴年齢制限]** で登録した暗証番号の入力が必要です。
- 項目を選んで初期化することもできます。
[EM]「各種設定」 → 「設定を初期化する」 → 「一部の設定を初期化する」

4 **はい** を選んで **決定** を押す

- この手順で **はい** を選んでも、すぐに初期化は始まりません。手順 **5** で初期化の種類を選んでください。

5 **初期化の種類** を選んで **決定** を押す

▷ **録画番組も消去する**

- すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
 USBハードディスクの録画番組はすべて消去されます。USBハードディスクの登録情報「USBハードディスクを通常録画用として登録する」も初期化(消去)されます。登録情報を初期化すると登録済みのUSBハードディスク内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。
[EM]「外部機器を使う」 → 「USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクを接続設定する」
 → 「USBハードディスクを通常録画用として登録する」

▷ **録画番組は消去しない**

- USBハードディスクの初期化はせずに、お買い上げ時の状態に戻すときに選びます。

▷ **戻る**

- 初期化しないときに選びます。
- 初期化が始まります。
- 約1分で初期化が完了します。
- 初期化が完了したら、自動的に再起動し、「かんたん一括設定」の開始画面が表示されます。

ご注意

- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[すべての初期化]**をおこなうことをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 録画中やダビング中の場合は、**[すべての初期化]**、**[機能設定初期化]**および**[ネットワーク設定初期化]**はおこなえません。

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合は、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布を繰り返して使用することは避けてください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると、液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 表面を傷つけるので、画面の清掃には研磨剤が入った洗剤は使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。また、酸やアルカリの使用も避けてください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合は、すぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因となります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤などを使用すると、画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※ 表面は傷つきやすいので、硬いもので押ししたり、こすったり、叩いたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。画面についたキズは修理できません。

※ 手指で触れるなどにより、表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。

ベンジンやシンナーなどで拭くと変質する原因となります。

〈化学ぞうきんご使用の際は、その注意書に従ってください。〉



使用禁止



- 柔らかい布で軽く拭きとってください。特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネ拭きなどの柔らかい布で拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入した場合は、故障の原因となります。

電源プラグ

ほこりなどは定期的にとってください。

- 電源プラグにほこりがついていたり、コンセントの挿し込みが不完全になっていたりする場合は、火災の原因となります。

内部

掃除は販売店に依頼してください。

- 1年に1度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因となります。とくに梅雨期の前におこなうのが効果的です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

型番	FL-50U3030		FL-43U3030	
種類	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ			
電源	AC100 V 50/60 Hz			
消費電力	起動時(W)	83		82
	待機時(W)	0.4 [クイック起動]を[入]に設定時:約12※1		
年間消費電力量※2	97 kWh/年【標準※3 時】 区分名※4:DF1 受信機型サイズ:50 V		105 kWh/年【標準※3 時】 区分名※4:DF1 受信機型サイズ:43 V	
音声	実用最大出力 JEITA(W)	10 + 10 (同時出力)		
	スピーカー	(11.2 cm × 4.3 cm) × 2		(7.6 cm × 4.2 cm) × 2
アンテナ入力	UHF 1 軸 75 Ω不平衡形			
BS・110度CS アンテナ入力	75 Ω不平衡形(C15 形)兼コンバーター用電源(DC15 V)出力			
受信チャンネル(ch)	地上デジタル:000~999 BSデジタル:000~999 110度CSデジタル:000~999			
表示画素数	3,840ドット × 2,160ライン			
画面寸法(cm)	幅109.5 × 高さ61.6 / 対角125.6		幅94.1 × 高さ52.9 / 対角107.9	
ヘッドホン出力端子	φ 3.5 ステレオミニジャック			
ビデオ入力端子	(映像) 1.0 V (p - p) 75 Ω(同期負極性) (音声) 150 mV(rms) ハイインピーダンス			
HDMI入力端子	4系統 4端子 ARC対応(HDMI1入力端子のみ)			
LAN端子	RJ-45 10BASE-T / 100BASE-TX			
USB 端子	USB 1 (録画用)	USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大900 mA		
	USB 2 (メディア再生用)	USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大500 mA		
光デジタル音声出力端子	1系統 1端子			
外形 寸法	スタンドあり(cm)	幅112.3 × 高さ70.0 × 奥行22.5		幅96.9 × 高さ60.6 × 奥行18.2
	スタンドなし(cm)	幅112.3 × 高さ65.1 × 奥行8.7		幅96.9 × 高さ56.4 × 奥行8.7
質量	スタンドあり(kg)	10.5		8.3
	スタンドなし(kg)	10.4		8.2
キャビネット材質	前:PC/ABS+GF 後:鉄、PS			
使用周囲温度(℃)	5~40			
リモ コン	型番	FRM-109TV		
	電源	DC3 V 単4形乾電池2本		
	質量	約130 g(乾電池含む)		
	操作範囲	左右各約30°以内、上約15°以内、下約30°以内		

- テレビのV型(50V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
 - このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.
 - 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- ※1 [クイック起動]を[入]に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の動作をしているときは更に消費電力が増加します。
- 本機で受信したデジタル放送をUSBハードディスクで録画しているとき
 - BS・110度CSアンテナへの電源供給を本機からおこなうために、[アンテナ電源]を[供給する]に設定しているとき
- ※2 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- ※3 一般的にご家庭で使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。本機では、映像モード=スタンダードをおすすめしています。
- ※4 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分をおこなっています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

- **保証書(梱包箱に貼り付けしています)について**
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社製品情報サイトの「お問い合わせ」ページ(funai.jp/cs/contact/)の修理規約も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

※この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

● 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。

● 修理料金のしくみ

技術料+部品代+出張料などで構成されています。

※ 修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。

- 製品の設定(外部機器との接続・調整・取り扱い説明など)を依頼されると、有料となることがあります。

● 修理不可の場合

製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電氣的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- お名前
- ご住所
- 電話番号
- お買い上げ製品の型番
(この取扱説明書または保証書に記載)
- お買い上げ製品の製造番号
(保証書または本機背面のラベルに記載)
- お買い上げ日
- 症状(故障または不具合の内容)
「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくための、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただきます。

症状診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下 の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

全情報の初期化：本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になったりする場合があります。

全情報の初期化をおこなうと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB機器の初期化をおこなうと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。USB機器は再登録も必要となります。

同意する

同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

【不具合症状】

発生区分：	<input type="checkbox"/> 地デジ	<input type="checkbox"/> BS/CS	<input type="checkbox"/> ハードディスク	<input type="checkbox"/> USB機器	<input type="checkbox"/> BDディスク	<input type="checkbox"/> DVDディスク	<input type="checkbox"/> その他（ ）
発生頻度：	<input type="checkbox"/> 常時	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> その他（ ）				
症状：	（できるだけくわしく） 例：地上デジタル放送の〇〇チャンネルが受信できない。						
受信環境：	<input type="checkbox"/> 戸建住宅（個別受信）	<input type="checkbox"/> マンションなど（共同受信）	<input type="checkbox"/> ケーブルテレビ（社名： ）				
接続機器：	<input type="checkbox"/> テレビ	（メーカー名： ）	、型番[機種名]： ）				
	<input type="checkbox"/> レコーダー	（メーカー名： ）	、型番[機種名]： ）				
	<input type="checkbox"/> 外付けハードディスク	（メーカー名： ）	、型番[機種名]： ）				
	<input type="checkbox"/> その他	（ ）					

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。（この製品の型番、製造番号は保証書および本機背面などに記載してあります。）

お買い上げ年月日	年	月	日	miniB-CASカード番号*
お買い上げ店名／電話番号	☎			
お買い上げ製品の型番	<input type="checkbox"/> FL-50U3030	<input type="checkbox"/> FL-43U3030		
	（お買い上げいただいた製品の型番の <input type="checkbox"/> にチェックを入れてください。）			
お買い上げ製品の製造番号				

※「miniB-CASカード情報」画面で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。

 「視聴する」 ➔ 「テレビを使いこなす」 ➔ 「miniB-CASカード情報を確認する」

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検	● 長年ご使用の製品の点検を！	（	）
	このような症状はありませんか	→	ご使用中止
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像や音がでない。 ● 変なにおいがしたり、煙がでたりする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。 		<p>このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>

困ったときは

おかしいな?と思ったときの調べかた

おかしいな?と思ったときに、お困りの症状から対処法をお調べいただけます。

- 不安定な動作となる場合は、お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。または、コンセントリセットをおこなっていただき、症状が改善されるかをご確認ください。

- 電源やリモコン以外の項目については、本機に搭載された電子マニュアルをご覧ください。

電源

このようなときは…	ここをお調べください
電源がオンにならない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.12 指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外に電源プラグを挿していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 安全のための保護回路がはたらくため、電源がオンにならなくなります。いったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100V)につなぎなおし、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。P.51 電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。P.51 [電源LED]が[切]になっていませんか。
テレビの電源をオフにすると、HDMIケーブルでつないだBDレコーダーの電源がオフになる。	<ul style="list-style-type: none"> [HDMI機器連動]が[入]、[HDMI機器の自動電源オフ]が[入]になっていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ [HDMI機器の自動電源オフ]が[入]になっている場合は、本機の電源をオフにするとHDMI-CEC対応機器の電源も連動してオフになります。HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 [E/M]「各種設定」➔「接続機器の設定をする」➔ 「HDMI-CECを設定する」
電源をオンにすると、 [かんたん一括設定] 開始画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> [かんたん一括設定]をしていないときは、電源をオンにすると[かんたん一括設定]開始画面が表示されます。P.25
電源をオフにしたあと、しばらくして動作音がした。	<ul style="list-style-type: none"> 電源をオフにしたあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源をオフにしてから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。
電源をオフにしているときに動作音がした。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.12 リモコンの乾電池の+-が逆に入っていないですか。 テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P.12 テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン([1] ~ [12])がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ チャンネル ▲/▼ や番組表でチャンネル切替をしてください。

困ったときは(つづき)

チャンネル ▲/▼ で、特定のチャンネルだけ選べない。	<ul style="list-style-type: none"> スキップしていませんか。選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する」
-----------------------------	--

地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
地上デジタル放送が映らない。映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 → 地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」 → 「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 → 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。P.16
映像や音が出ない、または時々出なくなる。映像が静止する、または時々静止する。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。またはアンテナ線の劣化などありませんか。 → [受信状態の確認] で信号品質を確認することができます。何らかの要因で信号品質が低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」 → 「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 信号品質が低い状態でご覧になっていませんか。 → 信号品質が低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。

BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
BS・110度CSデジタル放送が映らない。映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設しているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工していますか。 → [受信状態の確認] で信号品質が「20 以上」になっているか、ご確認ください。 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」 → 「BS・110度CSアンテナを接続したとき」
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 [受信状態の確認] で信号品質が「20 以上」になっているか、ご確認ください。 [EM] 「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」 → 「BS・110度CSアンテナを接続したとき」

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がかぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた
—	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードが挿入されておりません。miniB-CASカードを正しく挿入してください。miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.12
E204	このチャンネルは存在しません。	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルを入力しています。P.15
—	地上デジタル放送のチャンネルは設定されていません。地上デジタル設定をおこなってください。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送を受信するために、[設定する]で、[かんたん一括設定]をおこなってください。P.46
E202	放送を受信できません。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送を受信できなくなった場合は、[詳細を確認する]を選択し[アンテナの設定をおこなう]もしくは[チャンネルスキャンをおこなう]をおこなってください。 BS・CS放送を受信できなくなった場合は、[詳細を確認する]を選択し[アンテナ設定をおこなう]もしくは[アンテナ電源設定を確認する]をおこなってください。 [EM]「各種設定」 → 「放送受信設定をする」 → 「デジタル放送の受信状態を確認する」
—	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。	<ul style="list-style-type: none"> 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。 [EM]「さまざまな情報」 → 「用語の説明」 → 「降雨対応放送」
—	この番組をご覧いただくには、契約・登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか?	<ul style="list-style-type: none"> 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。P.29
—	このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。	<ul style="list-style-type: none"> データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。
—	このminiB-CASカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	<ul style="list-style-type: none"> 使用できないカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.12
—	このminiB-CASカードは使用できません。正しいminiB-CASカードを挿入してください。	<ul style="list-style-type: none"> カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.12
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	<ul style="list-style-type: none"> 選局したチャンネルが非放送番組です。
—	このチャンネルは現在放送されていません。	<ul style="list-style-type: none"> 選局したチャンネルが放送休止中です。
E210	この受信機では、このチャンネルは選局できません。	<ul style="list-style-type: none"> 本機では選局できないチャンネルです。
—	データ放送を受信できません。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	<ul style="list-style-type: none"> データ放送のデータを受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
—	データの表示ができませんでした。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	<ul style="list-style-type: none"> データ放送のデータを受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。

テレビ画面に表示されるメッセージ(つづき)

操作全般

表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた
ダビング中にこの操作はできません。	<ul style="list-style-type: none"> 現在ダビング中のため、その操作をおこなうことはできません。 [EM]「さまざまな情報」 → 「同時にできること」 → 「ダビングしているときの再生と予約録画について」
まもなく、USBハードディスクへの予約録画を開始します。	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能なUSBハードディスクまたはSeeQVaultハードディスクが接続されておりません。P.22

メール

表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた
ホーム画面の [設定する] からメールを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 新着のお知らせメールがあります。 ホーム → [設定する] → [お知らせメール]からメールの内容を確認してください。 [EM]「視聴する」 → 「テレビを使いこなす」 → 「お知らせメールについて」

USB

表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた
USBハードディスクを確認してください。 通常録画用として登録しているUSBハードディスクが接続されていません。 または本機で記録できないUSBハードディスクが接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクを認識できません。もしくは認識できないUSBハードディスクを接続しています。USBハードディスクを確認してください。P.13 本機で登録できるUSBハードディスクの容量は、32 GB～6 TBになります。USBハードディスクの最新情報や詳細は、当社製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ(funai.jp/cs/device/)でご確認ください。 登録設定したUSBハードディスクが、USB 1 (録画用)端子に接続していない可能性があります。接続を確認してください。P.22

録画

表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた
録画、またはダビングが禁止された番組です。	<ul style="list-style-type: none"> 「録画禁止」番組を録画しようとしています。(「録画禁止」番組は録画できません。)P.32
録画容量不足により、録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。
録画時間が15時間をこえたため、録画を停止しました。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。 USBハードディスク/SeeQVaultハードディスクへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。

予約

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた
USBハードディスクの録画容量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、他のUSBハードディスクに空き容量があればそちらに代理録画されます。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスク／SeeQVaultハードディスクの残量が不足しています。 ➡  を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。P.42 代理録画についてくわしくは「録画についての補足説明」をご覧ください。P.40
予約登録数がいっぱいのため予約登録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 予約登録数が上限の200に達したので、不要な予約を消去してください。P.39
番組情報が変更されました。	<ul style="list-style-type: none"> 予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。

消去・編集・ダビング

表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた
この番組は保護されているため、ダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組を保護しているときは、ダビングができません。 ➡ 番組の保護を解除してください。  「消去する／編集する」 ➡ 「番組名を変更する・番組を保護する」 ➡ 「番組を保護する」
この番組はすでに登録しているため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組、またはダビング10番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。
最大登録数をこえるため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビングリストの登録番組数がいっぱいになっています。  「ダビングする」 ➡ 「複数の番組をまとめてダビングする」 ➡ 「ダビングリストから番組を消去する」 ダビングリストに登録できる番組数は最大36番組です。
15時間をこえる番組はダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先がUSBハードディスク／SeeQVaultハードディスクのときに、15時間をこえる番組は、ダビングできません。
番組数が上限をこえています。ダビングする番組を減らしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先の番組総数が、限界をこえます。 ➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。  「ダビングする」 ➡ 「複数の番組をまとめてダビングする」 ➡ 「ダビングリストから番組を消去する」

著作権などについて

▷ 商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴR」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby AudioおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.

SeeQVault

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

▷ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品は、OpenSSLを使用しています。OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
Original SSLeay License
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
- 本製品は、ntupdateを使用しています。Copyright (C) University of Delaware 1992-2009 Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose

with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2を使用しています。libxml2 is free software available under the MIT License.

The MIT License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/ or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Playerを搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License (以下、GPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、変更、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、

ホーム ➔ **【設定する】** ➔ **【機能設定】** ➔ **【その他の設定】**
➔ **【本機の情報と更新】** ➔ **【ライセンス情報】** でご確認ください。

組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
船井電機株式会社

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

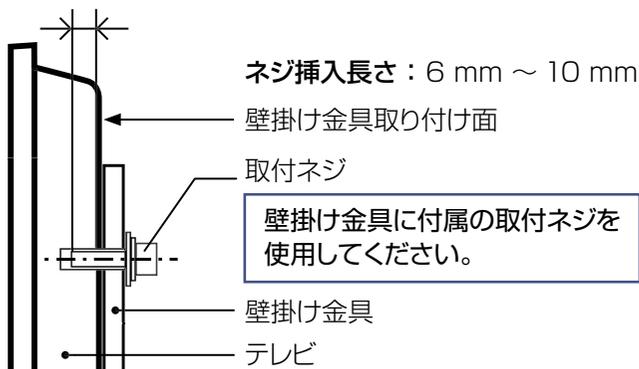
壁掛け金具取り付け時について



壁掛け金具(市販品)取り付け時の注意

- 壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全の場合は、けがの原因となります。
- 壁掛け金具(市販品)を取り付ける際は、壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛け金具に付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け金具取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定しています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状/サイズによっては壁面と干渉して使用できません。設置前に必ずご確認ください。

ネジ挿入長さ



壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。

注意

壁掛け金具取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

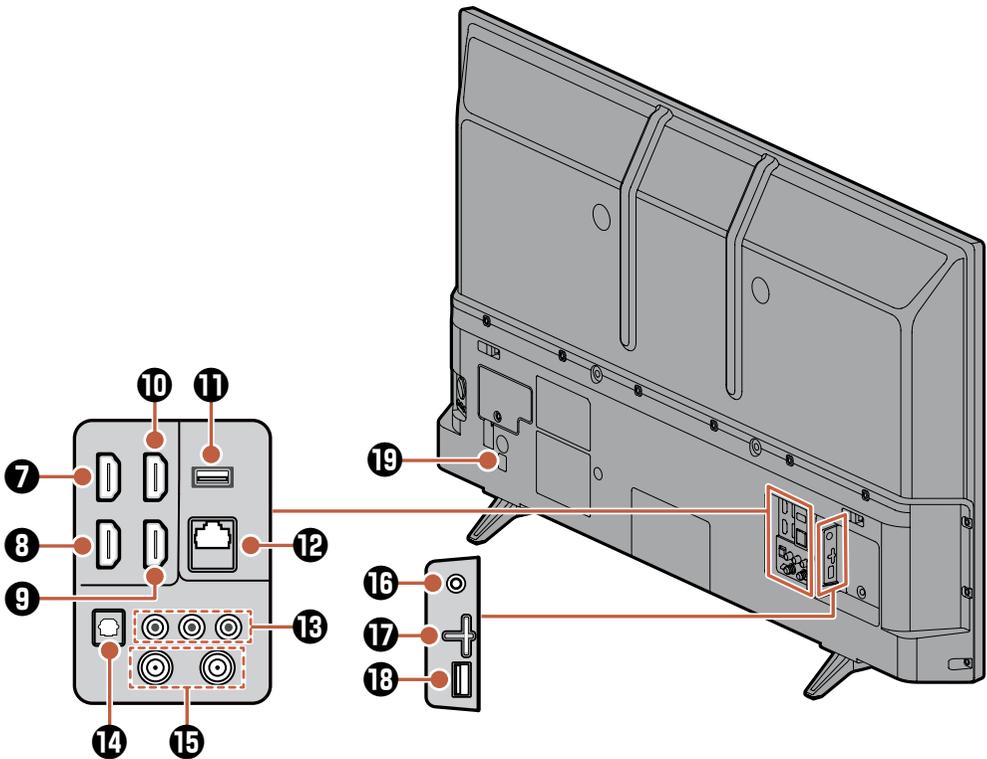
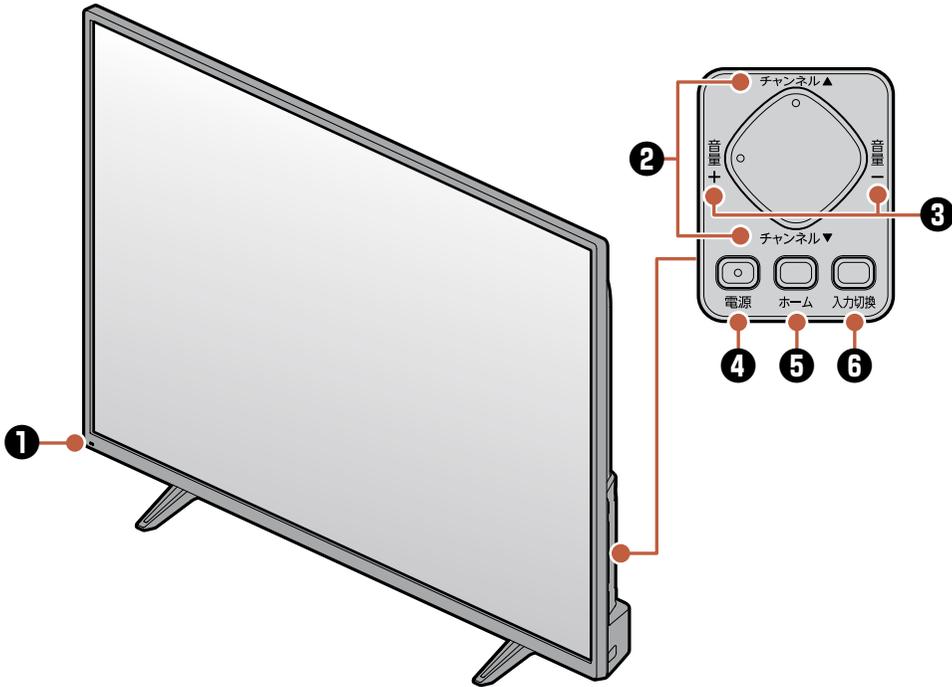
ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

取り付け部断面図の一例

※ 本機で推奨される壁掛け金具については、当社製品情報サイトの「壁掛け金具」ページ(funai.jp/cs/wall-mount/)でご確認ください。

Name and function of each part

Front view/side view/rear view



① Power-on indicator/remote control infrared sensor window

Blinking blue

……The TV is on and in booting state.

Glowing blue

……The TV is on and working normally.

Off

……The TV is in standby mode, or the power indicator setting is set to **[off]**.

② Channel ▲/▼ (チャンネル)**③ Volume up/down (音量+/-)**

Adjusts the volume.

④ Power (電源)**⑤ Home (ホーム)**

Displays the Home screen.

⑥ Input source (入力切換)

Each press of the button switches the input source.

⑦ HDMI port 1 (ARC compatible)**⑧ HDMI port 2****⑨ HDMI port 3****⑩ HDMI port 4****⑪ USB 1 port (for recording)**

Used to connect a USB-HDD.

⑫ LAN port**⑬ Video input****⑭ Optical digital audio output port****⑮ Terrestrial digital broadcasting/BS/CS antenna input**

(Left) BS/CS input

(Right) Terrestrial digital broadcasting input

⑯ Stereo headphone jack**⑰ miniB-CAS card slot**

Insert the included miniB-CAS card.

⑱ USB 2 port (for media playback)

Connect a USB flash drive, etc.

⑲ Slot for an antitheft device

- When turning off the TV by pressing the power button, the TV will be placed in standby mode. While in standby mode, the circuits for the minimum system functions (the digital tuner, etc.) are still kept energized.
- The TV may automatically receive digital broadcast maintenance information and update its software. It is recommended that the AC cord is kept plugged in unless it will not be used for a long period of time, or an abnormality has been found.
- If the TV becomes inoperable on Digital broadcasting, due to poor reception, unplug the AC cord and plug it back in after a few minutes.
- Some video games using a ray gun to target objects on the TV screen may not work properly. Refer to the video game instruction manual for details.
- Picture distortion may occur during special playback (fast forward, pause, etc.).



- AC cord must be unplugged when making connections.
- When connecting the video/audio cable, the color of the cable end and the input on the TV must match.
- **Video**···Yellow, **Audio-Left**···White, **Audio-Right**···Red
- Plug in the cables firmly. Failure to do so may cause noise and/or distortion.
- Grab the AC plug when unplugging. Do not pull the AC cord.
- If connected devices are placed too close to the TV, noise and/or distortion may occur. Keep devices far enough to not interfere with each other.
- Depending on the connecting device, connection methods may differ. Also check the instruction manual of the connecting device.
- Recorded pictures and sound are only allowed for private use, and are prohibited from use without permission of the rights holder for copyright reasons.
- Do not connect any USB devices other than USB storage devices for JPEG file viewing, movies and music playback, etc., to the USB 2 port (for media playback).

Remote control



1 Input source (入力切換)

- Each press of the button switches the input source.
- The Function button on the side of this unit can also be used to switch the Input source.

Rec (録画)

Power (電源)

- Turns on/off.
- The Power button on the side of this unit can also be used to turn on/off.

2 Numeric buttons

- The Numeric buttons can be used to select a channel directly.

3 Channel (チャンネル)

- Pressing the Channel button switches the channel up and down within the broadcasting type of currently being viewed.
- If pressing it on the Video input, etc., the screen will be switched to the last selected broadcasting type and the channel will be changed.

Terrestrial digital broadcasting (地上)

- Switches to Terrestrial digital broadcasting.

BS

- Switches to BS digital broadcasting

CS

- Switches to CS digital broadcasting

Volume (音量)

- Press + to turn up, press – to turn down the volume.

4 EPG (番組表)

Home (ホーム)

Mute (消音)

- Mutes the sound. Press again to unmute.

5 menu (メニュー)

Display (画面表示)

- Displays the Channel number, broadcast time, program name, audio type, recording info, current time, etc.

OK (決定) / ▲▼◀▶

- To select an item and confirm it on the option menu, etc.

Back (戻る)

- Returns to the previous screen while the option menu, etc., is displayed.

d-data (dデータ)

- Switches to Data broadcasting.

6 Color buttons (青/赤/緑/黄)

- Used when use of the color button(s) is suggested on the screen of the EPG, Recording list, Data broadcasting, etc.
- Functions will vary on the screen. Please operate by following the instructions at the bottom of the screen.

7 Fast-reverse/playback/fast-forward/skip-down/stop/pause/skip-up (早戻し/再生/早送り/スキップダウン/停止/一時停止/スキップアップ)

- Used to view a recorded program.

8 Links (リンク)

- Used to operate an HDMI-CEC compatible device using this unit's remote control.

Subtitles (字幕)

- Used to set the subtitle language and whether to enable subtitles.
- Subtitle operation is possible while playing a partly recorded program.

Audio (音声切換)

Recording list (録画一覧)



- This unit allows you to enjoy 4K content from the external input; however, it does not receive novel 4K/8K satellite broadcasting launched on December 1st, 2018. To enable it, a separately sold BS/CS4K compatible tuner is needed.
- When inserting a dry-cell battery, confirm the "+ / -", and insert it from the "-" side first.
- The remote control is inoperable if the batteries are weak, or the "+ / -" are reversed.
- The remote control of the TV is not compatible with TVs made by other manufacturers or our old TV models.
- Remote controls are precision instruments. Please handle with care. When pressing a button, press it down vertically and lightly.
- While a screen-display for an operation is on the screen, the corresponding buttons for the operation are available. If performing a second action, do it after the current screen-display disappears from the screen.

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、お買い上げの販売店へお問い合わせいただくか、
船井電機 製品情報サイトの「サポート」ページ funai.jp/cs/
をご覧ください。製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。



- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

 **0120-055-271** (通話料
無 料)

受付時間 9:00~18:00

(年末年始を除く)

※時間帯によっては、お電話が混み合っつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方はこちらまで FAX: 06-6746-3374

オンラインショップのご案内

リモコンなどの付属品をご購入いただけます。
お気軽にご利用ください。



船井サービス ONLINE SHOP

<https://www.funai-service.co.jp/shop/funai/>

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2020年12月現在)



船井電機株式会社

AC2UXJT-50UX
AC2VXJT-43UB